子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書

令和6年3月

呉市 こども部 こども支援課

# 内容

. 調査概要	1
(1)目的	1
(2)調査対象	1
(3)調査方法	1
(4)調査期間	1
(5)回収状況	1
(6)報告書の見方	1
. 調査結果	2
(1)子どもと家庭の状況について	2
(2)子どもの育ちをめぐる環境について	6
(3)保護者の就労状況について	12
(4)平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	21
(5)土曜日・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業に対するニーズについ	ハて31
(6)病気の際の対応について【平日の教育・保育を利用する方】	36
(7)不定期な教育・保育事業や宿泊を伴う一時的な預かり等の利用について	41
(8)地域の子育て支援事業等の利用状況について	46
(9)小学校就学後の放課後の過ごし方について	56
(10)職場の両立支援制度の利用について	60
. 資料編(調査票)	73

# 1.調査概要

#### (1)目的

本市における子ども・子育て家庭の状況及び子ども・子育て支援給付や地域子ども・子育て支援事業等の需要を的確に捉え、提供体制の確保や子育て支援等を第3期計画に反映させるため、その基礎となるニーズ調査を行うものです。

#### (2)調査対象

市内の未就学児童が属する世帯 3,000 件

※層化二段無作為抽出法(17支所の所管区域及び中央の18区域ごとの人口比)

# (3)調査方法

配布は郵送法で行い、回収は郵送法およびインターネットで行いました。

# (4)調査期間

令和6年1月5日(金)~2月13日(火)の40日間

#### (5)回収状況

調査票の配布・回収状況は、次のとおりです。

調査配付数	回収数	回収率
3,000	1,396	46.5%

※内、インターネットでの回収数:715件(回収数全体に対する割合:51.2%)

#### (6)報告書の見方

- ① 回答結果は、有効回答数に対して、それぞれの回答の占める割合を示しています。小数第2位を四捨五入しているため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計した値が100.0%にならない場合があります。
- ② 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合,選択肢ごとの有効回答数に対して,それぞれの回答の占める割合を示しています。そのため合計が100.0%を超える場合があります。
- ③ グラフ及び表のサンプル数 (n)は 無回答を除いた,有効標本数 (集計対象者総数)を表しています。
- ④ 本文中の設問及び選択肢は簡略化している場合があります。
- ⑤ グラフが煩雑になる場合は、グラフ中の数値表示を省略しています。
- ⑥ グラフの母数となるサンプル数 (n) が極端に少ない設問や子育て支援事業の「量の見込み」の算出に用いるデータに関する設問, 前回調査との比較で傾向に変化が見られない場合等についてはコメントを省略しているものがあります。

# 2. 調査結果

# (1)子どもと家庭の状況について

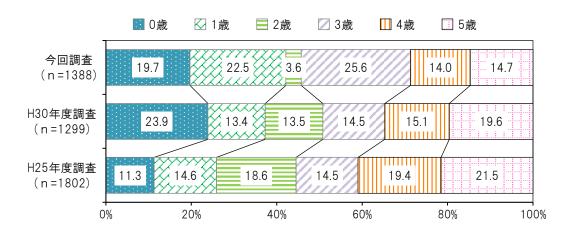
# 問 1. 居住地区について

- ・「広地区」が 28.8%, 「中央地区」が 24.9%, 「昭和地区」が 13.6%となっています。
- ・前回調査である H30 年度調査と比較すると、「広地区」が増加(6.7) し、「中央地区」が減少 (△2.5) しています。

No.	提供区域	地区	人数	割合 (%)	H30 年度 調査(%)	差
1	中央・宮原・警固屋	中央	346	24.9	27.4	△ 2.5
2	天応・吉浦	吉浦	63	4.5	4.1	0.4
3	中央・宮原・警固屋	警固屋	20	1.4	1.5	△ 0.1
4	阿賀・広・仁方・郷原	阿賀	87	6.3	6.2	0.1
5	阿賀・広・仁方・郷原	広	401	28.8	22.1	6.7
6	阿賀・広・仁方・郷原	仁方	35	2.5	3.2	△ 0.7
7	中央・宮原・警固屋	宮原	39	2.8	2.5	0.3
8	天応・吉浦	天応	29	2.1	1.9	0.2
9	昭和	昭和	189	13.6	13.6	0.0
10	阿賀・広・仁方・郷原	郷原	26	1.9	1.8	0.1
11	安芸灘地区	下蒲刈	3	0.2	0.2	0.0
12	川尻・安浦	川尻	34	2.4	3.9	△ 1.5
13	音戸·倉橋	音戸	40	2.9	4.2	△ 1.3
14	音戸·倉橋	倉橋	21	1.5	2.1	△ 0.6
15	安芸灘地区	蒲刈	5	0.4	0.5	△ 0.1
16	川尻・安浦	安浦	45	3.2	4	△ 0.8
17	安芸灘地区	豊浜	2	0.1	0.4	△ 0.3
18	安芸灘地区	豊	7	0.5	0.2	0.3
	有効回答		1,392	100.0	100.0	

#### 問2. 子どもの年齢について

・「3歳」が25.6%と最も多く、次いで「1歳」が22.5%となっています。



# 問3. きょうだいの人数について

・「2人」が42.0%と最も多く、次いで「1人」が34.0%となっています。

No.	項目	人数	割合 (%)	H30 年度 調査(%)	差
1	1人	474	34.0	38.8	△ 4.8
2	2人	585	42.0	38.8	3.2
3	3人	274	19.7	16.3	3.4
4	4 人	42	3.0	3.2	△ 0.2
5	5人	16	1.1	0.4	0.7
6	6人	2	0.1	0.2	△ 0.1
7	7人	1	0.1	2.4	△ 2.3
	有効回答	1,394	100.0	100.0	

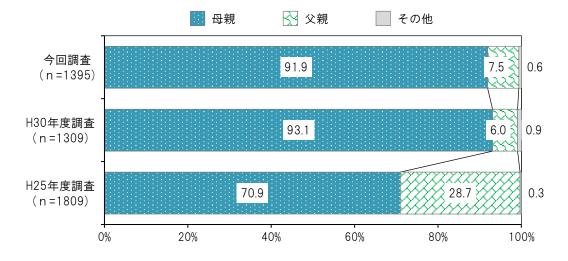
# 問3-1. 末子の年齢について

・「〇歳」が31.8%と最も多く、次いで「1歳」が24.8%となっています。

No.	項目	人数	割合 (%)	H30 年度 調査(%)	差
1	0 歳	428	31.8	40.2	△ 8.4
2	1 歳	334	24.8	6.4	18.4
3	2 歳	80	5.9	6.8	△ 0.9
4	3 歳	247	18.4	4.8	13.6
5	4 歳	140	10.4	4.4	6.0
6	5 歳	116	8.6	37.3	△ 28.7
	有効回答	1,345	100.0	100.0	

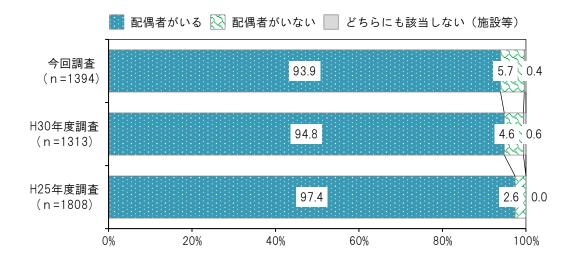
# 問4.調査票の回答者(子との関係)について

- ・「母親」が91.9%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「父親」の割合が 6.0%から 7.5%へ増加(1.5) しています。



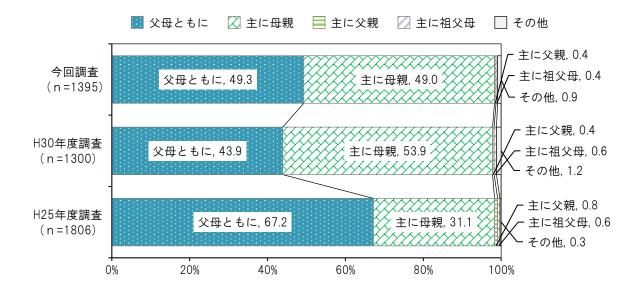
### 問5. 調査票記入者の配偶関係について

・「配偶者がいる」が93.9%,「配偶者がいない」が5.7%となっています。



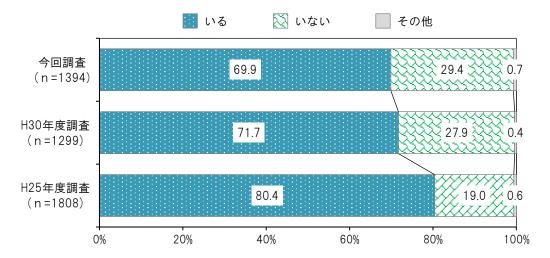
# 問6. 子育て(教育含む)を主にしている方について(子どもから見た続柄)

- ・「父母ともに」が49.3%,「主に母親」が49.0%と共に多くなっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「父母ともに」が 43.9%から 49.3%へと増加(5.4) し、「主に母親」が 53.9%から 49.0%へと減少(△4.9) しています。



### 問7. 子育での支援者が市内にいるかどうかについて

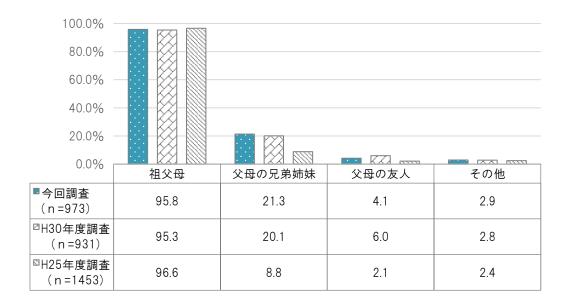
- ·「いる」が 69.9%, 「いない」が 29.4%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「いる」が 71.7%から 69.9%へと減少 (△1.8) し、「いない」が 27.9%から 29.4%へと増加 (1.5) しています。



# ※問7で「いる」の方

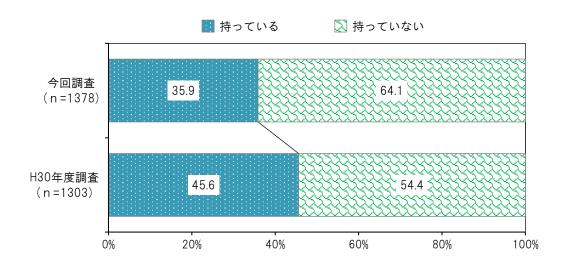
### 問7-1. その支援者の子どもから見た関係について【複数回答】

・「祖父母」が95.8%と最も多く、次いで「父母の兄弟姉妹」が21.3%となっています。



#### 問8. 地域との関わりについて

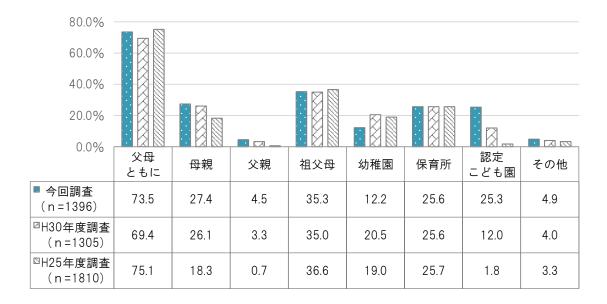
- ・「持っている」が35.9%,「持っていない」が64.1%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「持っている」が 45.6%から 35.9%へと減少( $\triangle 9.7$ )しています。



# (2)子どもの育ちをめぐる環境について

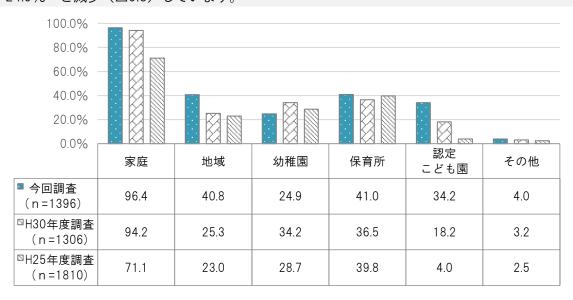
#### 問9. 子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方(施設)について【複数回答】

- ・「父母ともに」が73.5%と最も多く、次いで「祖父母」、「母親」、「保育所」となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「認定こども園」が 12.0%から 25.3%へと増加(13.3)し、「父母ともに」についても 69.4%から 73.5%へと増加(4.1)している一方、「幼稚園」が 20.5%から 12.2%へと減少( $\triangle$ 8.3)しています。



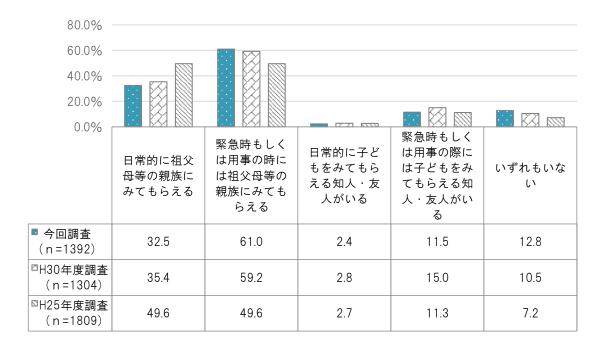
# 問 10. 子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境について【複数回答】

- ・「家庭」が96.4%と最も多く、次いで「保育所」41.0%と「地域」40.8%が多くなっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「認定こども園」が 18.2%から 34.2%へと増加(16.0)し、「地域」についても 25.3%から 40.8%へと増加(15.5)している一方、「幼稚園」が 34.2%から 24.9%へと減少( $\Delta 9.3$ )しています。



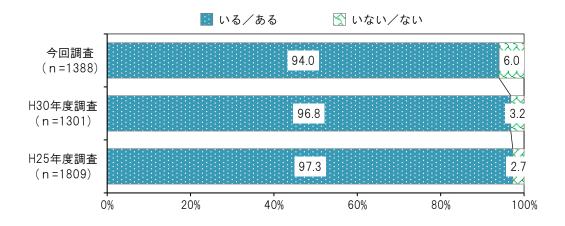
# 問 11. 日頃,子どもをみてもらえる親族・知人について【複数回答】

- ·「緊急時もしくは用事の時には祖父母等の親族にみてもらえる」が 61.0%と最も多く, 次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 32.5%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる知人・友人がいる」が 15.0%から 11.5%へと減少( $\triangle 3.5$ )し、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」についても 35.4%から 32.5%へと減少( $\triangle 2.9$ )しています。



# 問 12. 子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人(場所)について

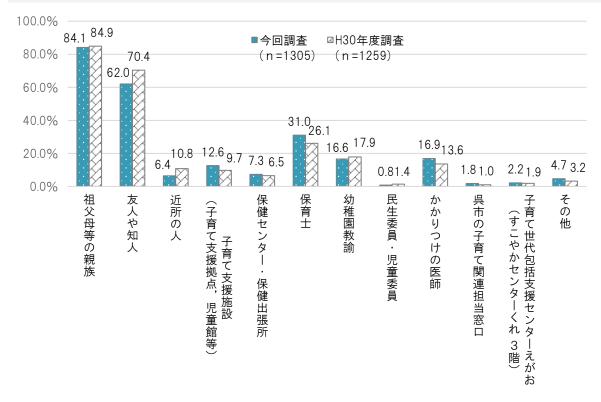
- ・「いる/ある」が94.0%,「いない/ない」が6.0%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると,「いる/ある」が 96.8%から 94.0%へと減少 (△2.8) しています。



# ※ 問12で「いる/ある」の方

#### 問 12-1. 子育て(教育を含む)に関して, 気軽に相談できる人(場所)について【複数回答】

- ・「祖父母等の親族」が84.1%と最も多く、次いで「友人や知人」が62.0%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると,「友人や知人」が 70.4%から 62.0%へと減少(△8.4) し,「保育士」が 26.1%から 31.0%へと増加(4.9) しています。



# 問 13. 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者等)からどのような サポートがあればよいか

No.	項目(回答内容の要約)	回答数	割合(%)
1	一時預かり・ファミリー・サポート等	148	27.9
2	金銭的支援・無償化	95	17.9
3	病児保育等の充実	55	10.4
4	親が気軽に相談しやすい時間・場所・環境づくり	40	7.5
5	地域や同じ子育て世代とのつながり	36	6.8
6	情報提供の充実	31	5.8
7	ベビーシッター・家事代行	17	3.2
8	イベントの充実	17	3.2
9	3歳以上と他の年代が過ごせる場所・親の支援	16	3.0
10	職場の環境の整備・理解促進	14	2.6
11	遊べる場所等の充実	14	2.6
12	街の環境等の改善	13	2.4
13	日常的な送迎の支援	13	2.4
14	親以外による子どもの見守り・遊び・学びの支援	10	1.9
15	児童会等,小学生以上を含む居場所の充実	10	1.9
16	現状で満足	10	1.9
17	延長保育・土日祝日の保育	9	1.7
18	保育所等での習い事・教育・体験の充実	9	1.7
19	障害のある子ども等への支援	9	1.7
20	周囲の理解・啓発等	9	1.7
21	産後ケアの充実	5	0.9
22	医療体制の充実	5	0.9
23	保育所の要件緩和・手続きの改善	3	0.6
24	教育の充実	3	0.6
25	外国人への支援	2	0.4
26	わからない	5	0.9
27	その他	4	0.8
	有効回答者数(※内容別に分類した総回答数は 602 件)	531	100

#### (主な意見)※原文のまま

#### 【一時預かり・ファミリー・サポート等】

- ◆ 短時間だけ気軽に子供を預けられる場所があると嬉しいです。自分自身が病院に行くときや 美容院に行く時間だけでも預かってもらえると助かります。
- ◆ 私用の際の子どもの預け先があればいいなと思う。ファミサポも検討したが、手続きや予定 の調整が大変で途中で諦めたため。
- 緊急時に子供を見てもらえる制度が利用しやすいと嬉しいです。
- 世話をする人が病気になった時に、子どもを預かってもらえる等利用できると助かります。 病気の時はなかなか頼みにくいので。
- ◆ 兄弟の一人だけ病院に連れて行きたい時等,他の子ども達をみてもらえたら助かります。
- 学童の所属していない時に、長期の休みで1日だけなど気軽に子どもを見てもらえる所があると助かります。

#### 【金銭的支援・無償化】

- 第二子以降は2歳児までの保育料も無償にしている市も増えているので呉市も第二子からは2歳児までの保育料を無償にして欲しい。
- 子供の医療無償化。子育て支援金の増額。子育て世帯の減税など、金銭的支援。
- 行政からの金銭的支援。オムツ代、絵本代子育てに関連する物品購入に使えるクーポン配布。
- ◆ 補助金制度。一時預かりがもっと気軽にできたら良い。金銭面気になる。

#### 【病児保育等の充実】

- 病児保育施設を市内にもっと増やして頂ければ、仕事もしやすくなると感じます。
- 病児保育が少なく、定員も決まっており、いつも使用できずに困っている。数を増やしてほしい。
- 発熱時など「早朝から」「長時間」あずかってくれる所。

# 【親が気軽に相談しやすい時間・場所・環境づくり】

- ◆ 悩みなどへの対応は保健所等でしていただけるが、電話だとハードルが高いが、LINE やメールなどで対応していただけると聞きやすいのではないかと思う。またその制度などの案内を 園などのお便りでもらえると目につきやすいと思う。
- ◆ 仕事をしているので、平日などは動きがとりづらいので、休日なども相談できたりする場所があれば良いと思う。
- ◆ どのような相談場所があるか分かりづらいし、相談するとなると敷居が高いように感じるので、気軽に相談したり、ふらっと寄ったりできる場所があるといい。

#### 【地域や同じ子育て世代とのつながり】

- ◆ もっと同じ子育て世代の親の関わりがもてる場所がほしい。
- マルシェなどの集まりで同い年の子の保護者と会う機会が多く、お互いの相談もしやすかったので、呉でのママのイベントを増やしてほしい。
- ◆ 自治会の活動がなく、子ども会の活動もないため、つながりを感じにくい。近所の子どもに 関する活動も調べたが、平日のみのため、仕事で参加が難しい。土日に気軽に集まれる場が ほしい。

# 【情報提供の充実】

- ◆ 子育て関係のイベント情報などが LINE 等で簡単に見られればよいと思う
- ◆ 保育園, 幼稚園の情報がもっとこまかく知れたら良いと思う。(園風や雰囲気, 保育, 教育内容, 金額等) HP で確認してもしっくりこない。
- ◆ 子育て世帯向けのイベント, サービスを知るツール(LINE, インスタ)を周知してほしい。 どこに何の情報があるのか?探しにくいです。

#### 【ベビーシッター・家事代行】

- もっと気軽にベビーシッターを利用できるようになると良い。
- 食事作りや掃除をしてくれる家事代行がより安価で利用しやすくなると、すごく親の負担が楽になると思います。

### 【イベントの充実】

- 土日での行事がもう少し増えればいいと思う。仕事で、平日は広場に行けない。
- 子どもが参加しやすい市や地域の行事が増えたら嬉しいです。

#### 【3歳以上と他の年代が過ごせる場所・親の支援】

- 室内で遊べる場所がほしい(0~18歳とか幅広い年代で)。
- くれくれ・ばのような支援センターで、3歳以上でも集まれる場を提供してほしい。乳児の 頃はくれくれ・ばで母も友人を作れたし、スタッフに相談出来たし、安心できる場所だった ので。

#### 【職場の環境の整備・理解促進】

- 仕事をする上で、託児所付のところが増えればよいと思う。
- 風邪を引いた時に、保育園等にすぐに迎えに行ける環境。

# 【遊べる場所等の充実】

- ◆ 公園。ボールあそび×。遊具がない。古くてあぶない。幼児が安心して遊べる公園が近くに ほしい。
- 日曜日も無料で遊べる室内の遊び場があれば良いのですが。

#### 【街の環境等の改善】

◆ 子連れで外出する中で,施設,お店が,小さい子どもに優しい所が増えたら良いと思います。

#### 【日常的な送迎の支援】

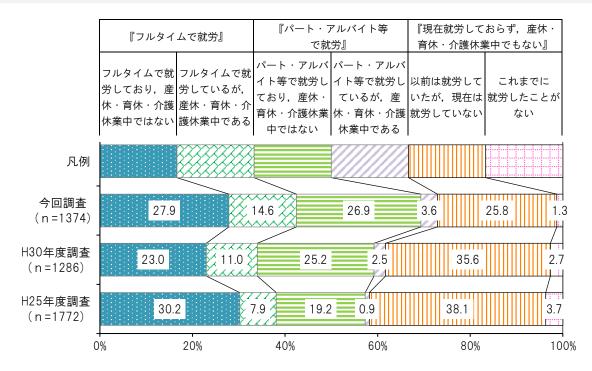
- 習い事をさせたくても、保護者が平日働いているので難しい。送り迎えのサポートが欲しいと思う。
- ◆ 日常的な送迎(登降園,習い事…)。

#### (3) 保護者の就労状況について

#### 問 14. 保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について

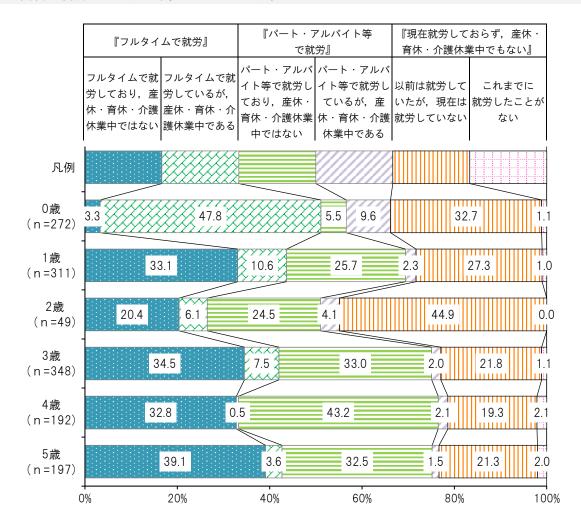
#### a. 母親【父子家庭の場合は記入不要】

- ・『フルタイムで就労』が 42.5%, 『パート・アルバイト等で就労』が 30.5%であり, 『産休・育休・介護休業中を含めて就労している人』の割合は 73.0%となっています。その中で, 「フルタイムで就労しており, 産休・育休・介護休業中ではない」が 27.9%, 「パート・アルバイト等で就労しており, 産休・育休・介護休業中ではない」人が 26.9%と多くなっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 35.6%から 25.8%へ減少( $\Delta 9.8$ )しています。一方、『フルタイムで就労』」が 34.0%から 42.5%へと増加 (8.5) しています。



#### (年齢別)

・子どもの年齢が0歳の場合,「フルタイムで就労しているが,産休・育休・介護休業中である」が47.8%,「パート・アルバイト等で就労しているが,産休・育休・介護休業中である」が9.6%と,それぞれ子どもの年齢が1歳以上の場合と比較して多く,産休・育休・介護休業中である割合の合計が57.4%と高くなっています。



# ※ a. 母親で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」~ 「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と回答の方

# 1週あたりの「就労日数」,1日あたりの「就労時間」と「家を出る時間」,「帰宅時間」について

#### ア. 就労日数, 就労時間 (残業時間を含む)

- ・就労日数は、「5日」が69.1%と最も多くなっています。
- ・就労時間は、「8時間以上」が42.5%と最も多くなっています。

### - 1 週あたりの日数

No.	項目	人数	割合 (%)
1	1日	3	0.3
2	2 日	11	1.1
3	3 日	66	6.6
4	4 日	152	15.3
5	5日	688	69.1
6	6 日	72	7.2
7	7日	3	0.3
	有効回答	995	100

### 1日あたりの時間

No.	項目	人数	割合 (%)
1	4 時間未満	26	2.6
2	4~6 時間未満	164	16.5
3	6~8 時間未満	380	38.3
4	8 時間以上	421	42.5
	有効回答	991	100

#### イ. 家を出る時間, 帰宅時間

- ・家を出る時間は,「8時~」が42.5%,「7時~」が39.2%と全体の81.7%を占めています。
- ・帰宅時間は、「~19 時」が 29.8%、「~18 時」が 26.4%と多くなっています。

#### ・家を出る時間

No.	項目	人数	割合 (%)
1	5 時~7 時前	50	5.1
2	7 時~	384	39.2
3	8 時~	416	42.5
4	9 時~	91	9.3
5	10 時~	17	1.7
6	11 時~	7	0.7
7	12 時~	3	0.3
8	13 時~	4	0.4
9	15 時~	2	0.2
10	18 時~4 時前	5	0.5
	有効回答	979	100

#### 帰宅時間

No.	項目	人数	割合 (%)
1	6 時~12 時	15	1.5
2	~13 時	12	1.2
3	~14 時	31	3.2
4	~15 時	40	4.1
5	~16 時	77	7.9
6	~17 時	133	13.6
7	~18 時	258	26.4
8	~19 時	292	29.8
9	~20 時	67	6.8
10	~21 時	26	2.7
11	~22 時	4	0.4
12	22 時~6 時前	24	2.5
	有効回答	979	100

# b. 父親【母子家庭の場合は記入不要】

・「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 96.9%と最も多く、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」と合わせた『フルタイムで就労』との回答が 98.5%となっています。

No.	項目	人数	割合 (%)
1	フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない	1234	96.9
2	フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	20	1.6
3	パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない	7	0.5
4	パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	0	0
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	13	1
6	これまでに就労したことがない	0	0
	有効回答	1274	100

# ※b. 父親で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」~ 「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」と回答の方

# 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間」と「家を出る時間」、「帰宅時間」について

# ア. 就労日数, 就労時間(残業時間を含む)

- ・就労日数は、「5日」が69.6%と最も多くなっています。
- ・就労時間は、「8時間以上」が全体の94.8%を占めています。

# - 1 週あたりの日数

No.	項目	人数	割合 (%)
1	1日	1	0.1
2	2 日	1	0.1
3	3 日	15	1.2
4	4 日	14	1.1
5	5日	869	69.6
6	6 日	327	26.2
7	7日	22	1.8
	有効回答	1249	100

# 1日あたりの時間

No.	項目    人数		割合 (%)
1	4 時間未満	20	1.6
2	4~6 時間未満	2	0.2
3	6~8 時間未満	42	3.4
4	8 時間以上	1173	94.8
	有効回答	1237	100

# イ. 家を出る時間, 帰宅時間

- ・家を出る時間は、「7時~」が 42.7%、「5時~7時前」が 37.1%と全体の 79.8%を占めています。
- ・帰宅時間は,「~19 時」が 27.6%と最も多く, 次いで「~20 時」が 21.8%となっています。

# ・家を出る時間

No.	項目	人数	割合 (%)
1	5 時~7 時前	458	37.1
2	7 時~	526	42.7
3	8 時~	174	14.1
4	9 時~	26	2.1
5	10 時~	3	0.2
6	11 時~	5	0.4
7	12 時~	1	0.1
8	13 時~	4	0.3
9	15 時~	6	0.5
10	18 時~4 時前	30	2.4
	有効回答	1233	100

# 帰宅時間

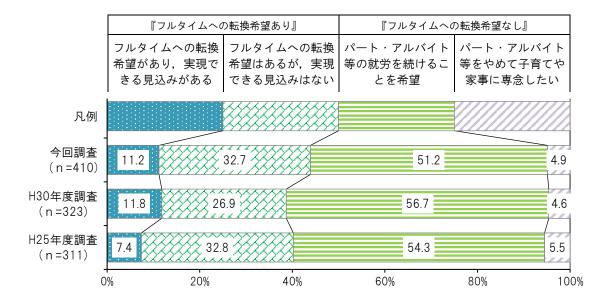
No.	項目	21	2.5
1	6 時~12 時	89	7.2
2	~13 時	1	0.1
3	~14 時	0	0
4	~15 時	2	0.2
5	~16 時	5	0.4
6	~17 時	21	1.7
7	~18 時	152	12.3
8	~19 時	340	27.6
9	~20 時	269	21.8
10	~21 時	183	14.8
11	~22 時	89	7.2
12	22 時~6 時前	82	6.7
	有効回答	1233	100

※ 問 14 a. 母親で「パート・アルバイト等で就労しており,産休・育休・介護休業中ではない」,「パート・アルバイト等で就労しているが,産休・育休・介護休業中である」と回答の方

#### 問 15. フルタイムへの転換希望について

#### a. 母親

- ・「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が51.2%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が32.7%となっています。実現できる見込みの有無に関わらず『フルタイムへの転換希望あり』は43.9%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、『フルタイムへの転換希望あり』のうち、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 26.9%から 32.7%へと増加(5.8)しています。一方、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は 56.7%から 51.2%へと減少( $\Delta$ 5.5)しています。

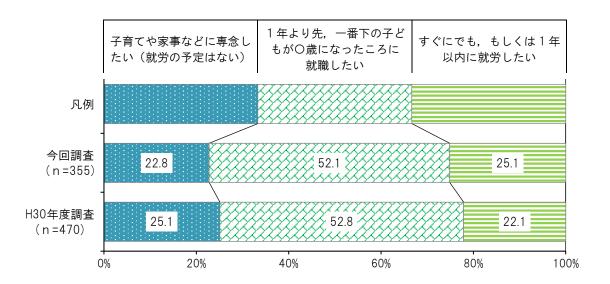


# ※ 問 14 の a. 母親または b. 父親で「以前は就労していたが,現在は就労していない」,「これまで就労したことがない」と回答の方

# 問 16. 就労希望について

#### a. 母親

- ・「1年より先,一番年下の子どもが○歳になったころに就労したい」が52.1%と最も多く,次いで「すぐにでも,もしくは1年以内に就労したい」が25.1%,「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が22.8%となっています。
- ・就労を希望する子どもの年齢では、「1歳まで」が8.2%、「2~3歳まで」が40.2%、「4~6歳」が27.2%、「7~12歳まで」が23.9%となっています。



#### ア. 就労を希望する子どもの年齢

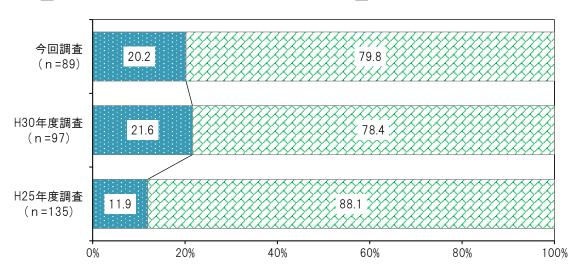
- 370	), C ( - 12 )		
No.	項目	人数	割合 (%)
1	1 歳まで	15	8.2
2	2~3 歳まで	74	40.2
3	4~6 歳まで	50	27.2
4	7~12 歳まで	44	23.9
5	13 歳以上	1	0.5
	有効回答	184	100

# ※ 問 16a. 母親で「すぐにでも,もしくは1年以内に就労したい」と回答の方

#### イ. 1年以内に就労を希望する就労形態

・「パートタイム, アルバイト等(「フルタイム」以外)が 79.8%, 「フルタイム(1 週間 5 日程度, 1日8時間程度の就労)」が 20.2%となっています。

### 🔡 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) 📿 パートタイム、アルバイト等



# ※ 1年以内に就労を希望する就労形態で「パートタイム, アルバイト等(フルタイム)以外」 と回答の方

- ・週あたりでは、「3日」、「4日」、「5日」がそれぞれ約3割と多くなっています。
- ・時間では、「~6時間」が61.1%と最も多く、次いで「~4時間」が34.7%となっています。

#### ・パート等の場合の週あたり日

No.	項目	人数	割合 (%)
1	1日	0	0
2	2 日	2	2.8
3	3 日	24	33.3
4	4 日	24	33.3
5	5日	22	30.6
6	6 日	0	0
7	7日	0	0
	有効回答	72	100

#### ・パート等の場合の1日あたり時間

No.	項目	人数	割合 (%)
1	~4 時間	25	34.7
2	~6 時間	44	61.1
3	~8 時間	3	4.2
4	8 時間以上	0	0
	有効回答	72	100

# b. 父親

※該当する回答者が少ないため、参考値として掲載し、コメントは省略しています。

No.	項目	人数	割合 (%)
1	子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	4	36.4
2	1年より先,一番下の子どもが( )歳になったころに就労したい	1	9.1
3	すぐにでも,もしくは1年以内に就労したい	6	54.5
	有効回答	13	100.0

# ア. 就労したい子どもの年齢

No.	項目	人数	割合 (%)
1	1 歳	1	100.0
	有効回答	1	100.0

# ※ 問 16b. 父親で「すぐにでも,もしくは1年以内に就労したい」と回答の方

# イ. 1年以内に就労を希望する就労形態

No.	項目	人数	割合 (%)
1	フルタイム(1週5日程度,1日8時間程度の就労)	5	83.3
2	パートタイム,アルバイト等(「フルタイム」以外)	1	16.7
	有効回答	6	100.0

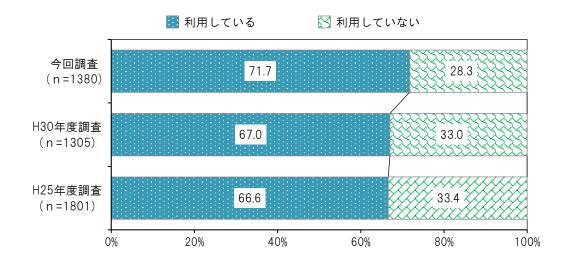
# ※「1年以内に就労を希望する就労形態で「パートタイム、アルバイト等(フルタイム)以外」 と回答の方

該当1件のみ。週4日,「~5時間」。

### (4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

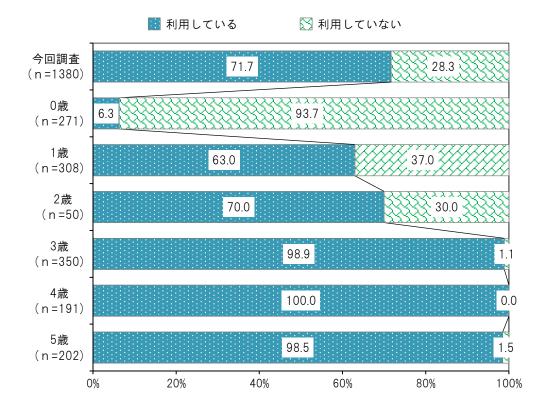
#### 問 17. 現在,幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」の利用について

- ・「利用している」が71.7%,「利用していない」が28.3%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「利用している」が 67.0%か 71.7%へと増加(4.7) しています。



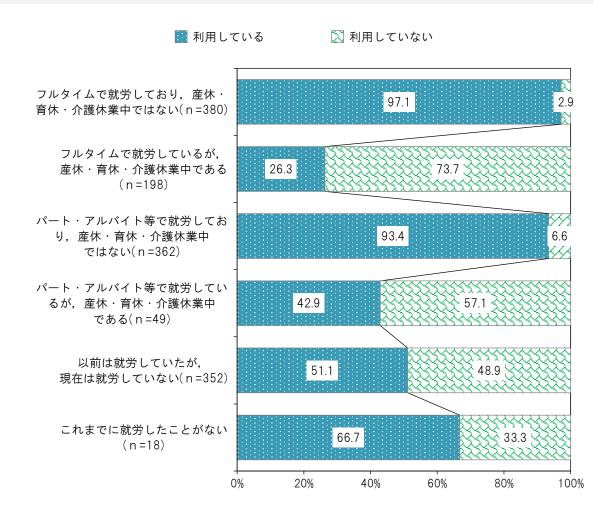
# (年齢別)

・子どもの年齢が高いほど、「利用している」割合が増加しています。特に「3歳」以上では、 「利用していない」の割合はわずかとなっています。



#### (母親の就労形態別)

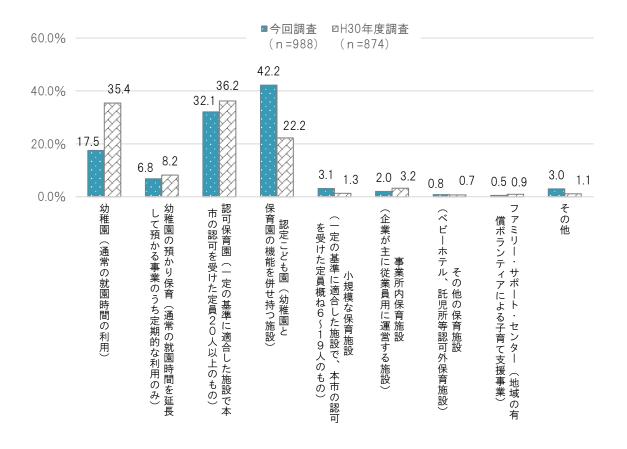
- ・「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」人は、「利用している」の割合が9割を超えて高くなっています。
- ・一方,「フルタイムで就労しているが,産休・育休・介護休業中である」と「パート・アルバイト等で就労しているが,産休・育休・介護休業中である」については「利用している」が半数を下回っており低くなっています。



# ※ 問 17 で「利用している」と回答の方

# 問 17-1. 平日の教育・保育事業の利用について【複数回答】

- ・「認定こども園」が 42.2%と最も多く、次いで「認可保育所」が 32.1%, 「幼稚園」が 17.5% となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「認定こども園」が 22.2%から 42.2%へと増加(20.0) し、「幼稚園」が 35.4%から 17.5%へと減少(△17.9) しています。



# 問 17-2. 平日, 定期的に利用している教育・保育事業について

# a. 日数·週

- ・現在の利用状況では、「小規模な保育施設」で「6日」、「ファミリー・サポート・センター」で「1日」がそれぞれ最も多く、その他の項目では「5日」の利用が最も多くなっています。
- ・希望は同様に「5日」の回答割合が多く,『小規模な保育施設』を除く項目で「6日」の希望 が現在の利用状況よりも多くなっています。
- ・「7日」の希望は「認可保育所」で0.4%,「認定こども園」で0.3%となっています。

#### (現在の利用状況)

No.	項目	1日	2日	3 日	4 日	5日	6日	7日	有効回答
1	幼稚園(通常の就園時間の利用)	0.6%	-	0.6%	1.2%	97.1%	0.6%	-	172 100.0%
2	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長 して預かる事業のうち、定期的な利用のみ)	1.5%	ı	1.5%	1.5%	94.0%	1.5%	ı	67 100.0%
3	認可保育所(一定の基準に適合した施設で呉市 の認可を受けた定員 20 人以上の施設)	-	0.3%	0.3%	1.9%	82.9%	14.6%	ı	316 100.0%
4	認定こども園 (幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)	0.2%	0.2%	ı	1.9%	84.4%	13.2%	ı	416 100.0%
5	小規模な保育施設 (一定の基準に適合した施設で呉市の認可を受け た定員概ね6~19人の施設)	_	1	1	_	45.2%	54.8%	1	31 100.0%
6	事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	-	-	-	20.0%	75.0%	5.0%	-	20 100.0%
7	その他の保育施設 (ベビーホテル,託児所等認可外保育施設)	-	ı	I	12.5%	87.5%	-	ı	8 100.0%
8	ファミリー・サポート・センター (地域の 有償ボランティアによる子育て支援事業)	40.0%	20.0%	ı	20.0%	20.0%	-		5 100.0%
9	その他	6.7%	1	3.3%	3.3%	70.0%	16.7%	ı	30 100.0%

No.	項目	1日	2日	3 日	4 日	5日	6 日	7日	有効回答
1	幼稚園(通常の就園時間の利用)	-	ı	ı	0.7%	93.6%	5.7%	ı	140 100.0%
2	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長 して預かる事業のうち、定期的な利用のみ)	-	-	-	1.7%	91.7%	6.7%	-	60 100.0%
3	認可保育所(一定の基準に適合した施設で呉市 の認可を受けた定員 20 人以上の施設)	-	-	-	1.4%	74.3%	23.9%	0.4%	284 100.0%
4	認定こども園 (幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)	-	-	0.6%	1.7%	80.1%	17.4%	0.3%	362 100.0%
5	小規模な保育施設 (一定の基準に適合した施設で呉市の認可を受け た定員概ね6~19人の施設)	-	-	-	1	57.1%	42.9%	-	28 100.0%
6	事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	-	-	-	-	83.3%	16.7%	-	18 100.0%
7	その他の保育施設 (ベビーホテル,託児所等認可外保育施設)	-	ı	12.5%	ı	87.5%	1	I	8 100.0%
8	ファミリー・サポート・センター (地域の 有償ボランティアによる子育て支援事業)	40.0%	ı	20.0%	ı	20.0%	20.0%	ı	5 100.0%
9	その他	_	3.8%	7.7%	_	73.1%	15.4%	-	26 100.0%

# b. 時間・日

- ・現在の利用状況は、『幼稚園』と『幼稚園の預かり保育』では「6~8時間未満」、『ファミリー・サポート・センター』は「4時間未満」の利用が多くなっていますが、それ以外の項目では「8時間以上」が多くなっています。
- ・『幼稚園』は「6~8時間未満」、『幼稚園の預かり保育』は「6~8時間未満」と「8時間以上」、『ファミリー・サポート・センター』は「4~6時間未満」と「8時間以上」の利用を希望をしている人の割合が多く、その他の項目では現在に比べて「8時間以上」の利用を希望している人の割合が高くなっています。

#### (現在の利用状況)

No.	項目	4 時間 未満	4~6 時 間未満	6~8 時 間未満	8 時間 以上	有効回答
1	幼稚園 (通常の就園時間の利用)	1.2%	19.3%	64.3%	15.2%	171 100.0%
2	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる 事業のうち, 定期的な利用のみ)	6.0%	7.5%	47.8%	38.8%	67 100.0%
3	認可保育所(一定の基準に適合した施設で呉市の認可を 受けた定員 20 人以上の施設)	ı	0.3%	20.0%	79.7%	315 100.0%
4	認定こども園 (幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)	0.7%	5.3%	34.5%	59.5%	415 100.0%
5	小規模な保育施設(一定の基準に適合した施設で呉市の 認可を受けた定員概ね6~19人の施設)	-	3.3%	26.7%	70.0%	30 100.0%
6	事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	5.0%	1	30.0%	65.0%	20 100.0%
7	その他の保育施設 (ベビーホテル,託児所等認可外保育施設)	-	1	37.5%	62.5%	8 100.0%
8	ファミリー・サポート・センター (地域の有償ボランティアによる子育て支援事業)	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	5 100.0%
9	その他	10.0%	26.7%	30.0%	33.3%	30 100.0%

No.	項目	4 時間 未満	4~6 時 間未満	6~8 時 間未満	8 時間 以上	有効回答
1	幼稚園 (通常の就園時間の利用)	ı	7.9%	69.1%	23.0%	139 100.0%
2	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる 事業のうち, 定期的な利用のみ)	5.1%	3.4%	45.8%	45.8%	59 100.0%
3	認可保育所(一定の基準に適合した施設で呉市の認可を 受けた定員 20 人以上の施設)	-	ı	12.4%	87.6%	282 100.0%
4	認定こども園 (幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)	0.3%	2.8%	31.8%	65.2%	359 100.0%
5	小規模な保育施設(一定の基準に適合した施設で呉市の 認可を受けた定員概ね6~19人の施設)	ı	ı	25.0%	75.0%	28 100.0%
6	事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	-	-	22.2%	77.8%	18 100.0%
7	その他の保育施設 (ベビーホテル,託児所等認可外保育施設)	-	-	37.5%	62.5%	8 100.0%
8	ファミリー・サポート・センター (地域の有償ボランティアによる子育て支援事業)	20.0%	40.0%	1	40.0%	5 100.0%
9	その他	3.8%	_	46.2%	50.0%	26 100.0%

# c. 開始時間

- ・現在の利用状況では『幼稚園』は「9時~」,『ファミリー・サポート・センター』は「10時~」が最も多くなっていますが、その他の項目は「8時~」が最も多くなっています。
- ・全体的に現在の利用状況よりも早い開始時間を希望している傾向にあり、『幼稚園の預かり保育』、『認可保育所』、『認定こども園』については「6時~」からの利用を希望する回答もあります。

# (現在の利用状況)

No.	項目	6 時~	7 時~	8 時~	9 時~	10 時~	有効回答
1	幼稚園 (通常の就園時間の利用)	_	5.3%	44.1%	48.2%	2.4%	170 100.0%
2	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる 事業のうち, 定期的な利用のみ)	1.5%	11.9%	58.2%	22.4%	6.0%	67 100.0%
3	認可保育所(一定の基準に適合した施設で呉市の認可を 受けた定員 20 人以上の施設)	-	27.2%	56.3%	15.8%	0.6%	316 100.0%
4	認定こども園 (幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)	-	21.2%	51.7%	25.5%	1.7%	416 100.0%
5	小規模な保育施設(一定の基準に適合した施設で呉市の 認可を受けた定員概ね6~19人の施設)	-	19.4%	51.6%	22.6%	6.5%	31 100.0%
6	事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	-	25.0%	60.0%	5.0%	10.0%	20 100.0%
7	その他の保育施設 (ベビーホテル,託児所等認可外保育施設)	_	25.0%	50.0%	25.0%	-	8 100.0%
8	ファミリー・サポート・センター (地域の有償ボランティアによる子育て支援事業)	-	-	40.0%	-	60.0%	5 100.0%
9	その他	_	6.7%	36.7%	26.7%	30.0%	30 100.0%

No.	項目	6 時~	7 時~	8 時~	9 時~	10 時~	有効回答
1	幼稚園 (通常の就園時間の利用)	ı	9.4%	45.3%	43.2%	2.2%	139 100.0%
2	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる 事業のうち、定期的な利用のみ)	1.7%	22.0%	45.8%	25.4%	5.1%	59 100.0%
3	認可保育所(一定の基準に適合した施設で呉市の認可を 受けた定員 20 人以上の施設)	1.8%	38.5%	46.3%	13.1%	0.4%	283 100.0%
4	認定こども園 (幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)	0.8%	23.5%	51.1%	23.5%	1.1%	358 100.0%
5	小規模な保育施設(一定の基準に適合した施設で呉市の 認可を受けた定員概ね6~19人の施設)	_	25.0%	46.4%	25.0%	3.6%	28 100.0%
6	事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	-	22.2%	66.7%	5.6%	5.6%	18 100.0%
7	その他の保育施設 (ベビーホテル,託児所等認可外保育施設)	ı	37.5%	25.0%	37.5%	I	8 100.0%
8	ファミリー・サポート・センター (地域の有償ボランティアによる子育て支援事業)	-	-	40.0%	20.0%	40.0%	5 100.0%
9	その他	_	24.0%	28.0%	36.0%	12.0%	25 100.0%

# d. 終了時間

- ・現在の利用状況は、『幼稚園』と『幼稚園の預かり保育』は「~16 時」、『認可保育所』、『認定こども園』、『小規模な保育施設』、『その他の保育施設』は「~18 時」、『事業所内保育施設』は「~17 時」、『ファミリー・サポート・センター」』は「15 時前」までの利用が最も多くなっています。
- ·『幼稚園の預かり保育』と『認可保育所』では「19 時以降」までを希望する割合がそれぞれ1割を超えています。

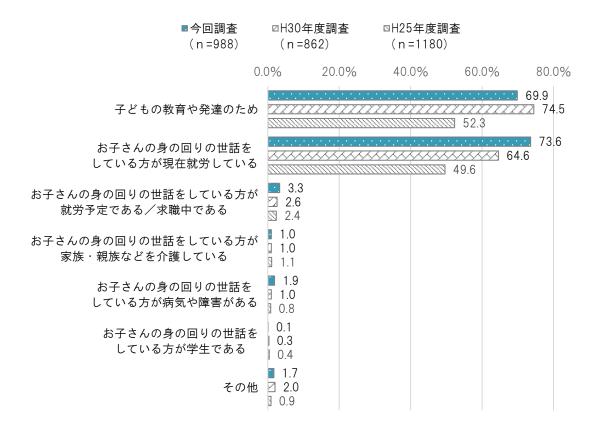
### (現在の利用状況)

No.	項目	15 時前	~16時	~17時	~18時	~19時	19 時以降	有効回答
1	幼稚園(通常の就園時間の利用)	31.8%	42.9%	10.6%	8.8%	4.1%	1.8%	170 100.0%
2	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長し て預かる事業のうち、定期的な利用のみ)	7.5%	32.8%	23.9%	25.4%	6.0%	4.5%	67 100.0%
3	認可保育所(一定の基準に適合した施設で呉市 の認可を受けた定員 20 人以上の施設)	0.6%	2.5%	35.1%	41.1%	18.4%	2.2%	316 100.0%
4	認定こども園(幼稚園と保育所の機能を併せ持 つ施設)	10.8%	17.1%	25.7%	30.3%	14.7%	1.4%	416 100.0%
5	小規模な保育施設(一定の基準に適合した施設で呉 市の認可を受けた定員概ね6~19人の施設)	-	16.1%	22.6%	32.3%	29.0%	_	31 100.0%
6	事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営 する施設)	ı	5.0%	50.0%	35.0%	10.0%	-	20 100.0%
7	その他の保育施設 (ベビーホテル,託児所等認可外保育施設)	12.5%	12.5%	25.0%	37.5%	12.5%	-	8 100.0%
8	ファミリー・サポート・センター (地域の有償ボランティアによる子育て支援事業)	60.0%	ı	20.0%	20.0%		_	5 100.0%
9	その他	16.7%	26.7%	20.0%	16.7%	16.7%	3.3%	30 100.0%

No.	項目	15 時前	~16時	~17時	~18時	~19時	19 時以降	有効回答
1	幼稚園(通常の就園時間の利用)	12.9%	43.9%	19.4%	11.5%	6.5%	5.8%	139 100.0%
2	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長し て預かる事業のうち、定期的な利用のみ)	3.4%	25.4%	20.3%	23.7%	15.3%	11.9%	59 100.0%
3	認可保育所(一定の基準に適合した施設で呉市 の認可を受けた定員 20 人以上の施設)	0.4%	1.4%	23.0%	33.6%	27.2%	14.5%	283 100.0%
4	認定こども園(幼稚園と保育所の機能を併せ持 つ施設)	5.3%	12.3%	25.6%	30.9%	18.7%	7.2%	359 100.0%
5	小規模な保育施設(一定の基準に適合した施設で呉 市の認可を受けた定員概ね6~19人の施設)	-	7.1%	14.3%	42.9%	28.6%	7.1%	28 100.0%
6	事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営 する施設)	ı	ı	33.3%	38.9%	22.2%	5.6%	18 100.0%
7	その他の保育施設 (ベビーホテル,託児所等認可外保育施設)	-	12.5%	50.0%	12.5%	25.0%	-	8 100.0%
8	ファミリー・サポート・センター (地域の有償ボランティアによる子育て支援事業)	40.0%	ı	20.0%	40.0%	-		5 100.0%
9	その他	_	28.0%	12.0%	32.0%	20.0%	8.0%	25 100.0%

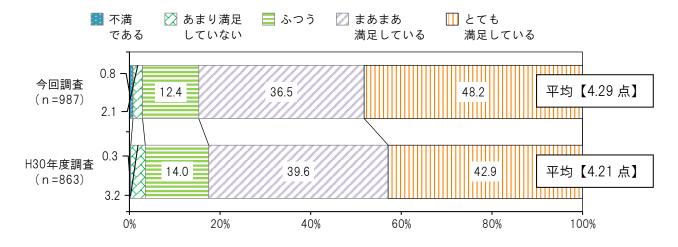
#### 問 17-3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用理由について【複数回答】

- ・「お子さんの身の回りの世話をしている方が現在就労している」が 73.6%と最も多く, 次いで「子どもの教育や発達のため」が 69.9%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「お子さんの身の回りの世話をしている方が現在就労している」 が 64.6%から 73.6%へと増加 (9.0) して「子どもの教育や発達のため」が 74.5%から 69.9% へ減少  $(\Delta 4.6)$  しています。



# 問 17-4. 平日に定期的に利用している教育・保育事業への満足度について

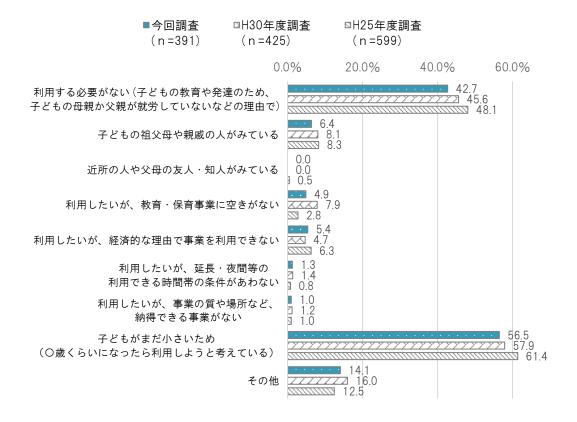
・「とても満足している」が 48.2%と最も多く,次いで「まあまあ満足している」が 36.5%となっており,5点満点で満足度は 4.29 点となっています。



#### ※ 問 17 で「利用していない」と回答の方

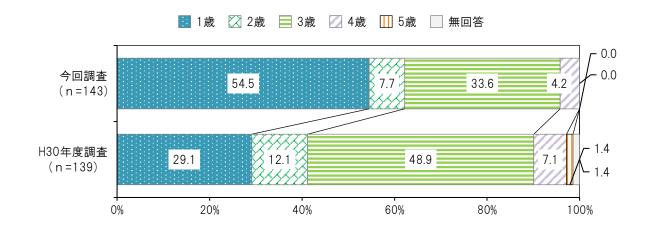
#### 問 17-5. 利用していない理由について【複数回答】

・「子どもがまだ小さいため(○歳くらいになったら利用しようと考えている)」との回答が 56.5%と最も多いですが、「利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、子どもの母親 か父親が就労していないなどの理由で)」との回答も 42.7%と高くなっています。



#### ■将来,子どもを預けたい年齢

- ・「1歳」が54.5%と最も多く、次いで「3歳」33.6%、「2歳」7.7%となっています。
- ·H30 年度調査と比較すると,「1 歳」が 29.1%から 54.5%へと増加 (25.4) し,「3 歳」が 48.9% から 33.6%へと減少 ( $\Delta$ 15.3) していますす。



# 問 18. (全ての方に) 平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業について

・第1希望は『認定こども園』が多く,次いで『認可保育所』,『幼稚園』が多くなっています。

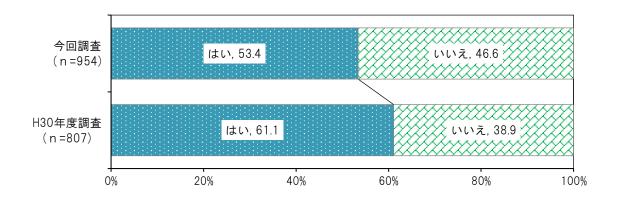
No.	項目	第1希望	第2希望	第3希望	第4希望	第5希望	第6希望	第7希望	第8希望
1	幼稚園 (通常の就園時間の利用)	283	199	156	93	54	27	15	10
2	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ)	30	232	178	105	63	42	25	10
3	認可保育所 (一定の基準に適合 した施設で呉市の認可を受け た定員 20 人以上の施設)	357	225	147	103	32	17	8	6
4	認定こども園 (幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)	535	273	136	73	24	7	2	2
5	小規模な保育施設(一定の基準 に適合した施設で呉市の認可 を受けた定員概ね 6~19 人の 施設)	29	68	118	110	146	47	23	12
6	家庭的保育(保育者の自宅等で 5 人以下の子どもを保育する 事業)	2	8	13	29	35	62	53	49
7	事業所内保育施設(企業が主に 従業員用に運営する施設)	36	28	33	51	50	77	69	24
8	その他の保育施設(ベビーホテル, 託児所等認可外保育施設)	6	5	14	11	15	26	42	75
9	居宅訪問型保育(一定の資格要件を満たす保育者が子どもの家庭で保育する事業)	4	4	13	12	15	15	26	30
10	ファミリー・サポート・センタ ー (地域の有償ボランティアに よる子育て支援事業)	6	17	35	28	22	29	36	55
11	こども誰でも通園制度(仮称)	41	30	31	29	30	29	37	34
12	その他	14	1	2	0	0	0	1	0
	有効回答	1,343	1,090	876	644	486	378	337	307

※ 問 18 で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ、この2つ以外のサービス の希望を選択した方

#### 問 18-1. 特に幼稚園の利用を強く希望するか

- ·「はい」が 53.4%, 「いいえ」が 46.6%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「はい」が 61.1%から 53.4%へと減少(△7.7) しています。

#### 【今回調査 (n=807)】

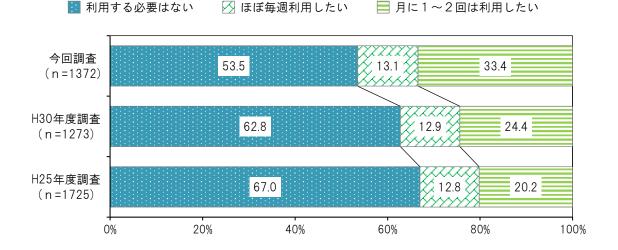


# (5) 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業に対するニーズについて

# 問 19. 土曜日と日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業の利用希望について

#### a. 土曜日

- ・「利用する必要はない」が 53.5% と最も多く,次いで「月に 1 ~ 2 回は利用したい」が 33.4% となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」が 62.8%から 53.5%へ減少( $\triangle 9.3$ )し、「月に  $1 \sim 2$  回は利用したい」が 24.4%から 33.4%へと増加(9.0)しています。



# ※ 問 19. aで「ほぼ毎週利用したい」,「月に1~2回は利用したい」と回答の方

#### ア. 土曜日/開始時間・終了時間

- ·開始時間は「8時~」が45.3%で最も多く、次いで「9時~」が29.2%となっています。
- ・終了時間は「~19時」が55.7%で最も多く、次いで「~17時」が30.5%となっています。

# (開始時間)

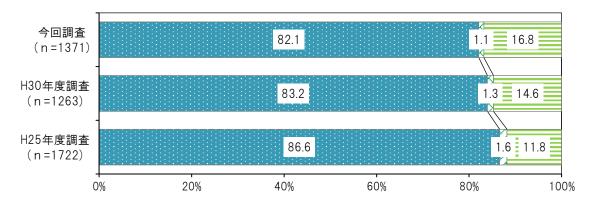
No.	項目	人数	割合 (%)
1	7 時以前	2	0.3
2	7 時~	128	20.3
3	8 時~	286	45.3
4	9 時~	184	29.2
5	10 時以降	31	4.9
	有効回答	631	100.0

# (終了時間)

No.	項目	人数	割合 (%)
1	~13 時	9	1.4
2	~15 時	42	6.7
3	~17 時	192	30.5
4	~19 時	351	55.7
5	19 時以降	36	5.7
	有効回答	630	100.0

# b. 日曜日·祝日

- ・「利用する必要はない」が 82.1% と最も多く,次いで「月に  $1 \sim 2$  回は利用したい」が 16.8% となっています。
  - 利用する必要はない 🛮 ほぼ毎週利用したい 🗧 月に1~2回は利用したい



# ※ 問 19. bで「ほぼ毎週利用したい」,「月に 1 ~ 2 回は利用したい」と回答の方

# ア. 日曜日/開始時間・終了時間

- ・開始時間は「8時~」が44.5%で最も多く、次いで「9時~」が27.8%となっています。
- ・終了時間は「~19 時」が 65.7%で最も多く,次いで「~17 時」が 20.0%となっています。

# (開始時間)

137 PI 3	· • • •		
No.	項目	人数	割合 (%)
1	7 時以前	1	0.4
2	7 時~	51	20.8
3	8 時~	109	44.5
4	9 時~	68	27.8
5	10 時以降	16	6.5
	有効回答	245	100.0

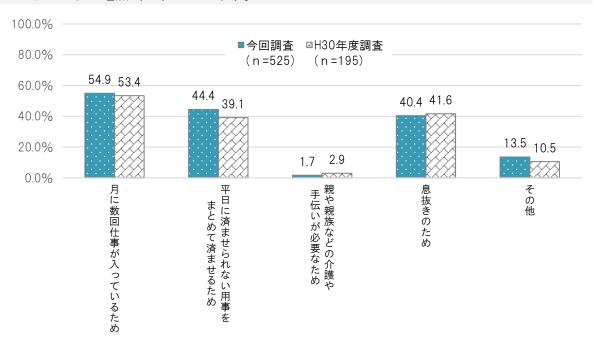
# (終了時間)

No.	項目	人数	割合 (%)
1	~13 時	7	2.9
2	~15 時	9	3.7
3	~17 時	49	20.0
4	~19 時	161	65.7
5	19 時以降	19	7.8
	有効回答	245	100.0

### ※ 問 19 で「月に1~2回は利用したい」と回答の方

#### 問 19-1. 毎週ではなく、たまに利用したい理由について【複数回答】

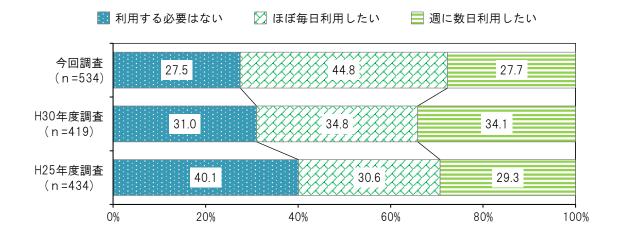
- ・「月に数回仕事が入っているため」が 54.9%で最も多く,次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 44.4%,「息抜きのため」が 40.4%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 39.1% から 44.4%へ増加 (5.3) しています。



#### ※ 幼稚園及び認定こども園(幼稚園機能部分)を利用されている方

### 問20. 夏休み, 冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の利用希望について

- ・「ほぼ毎日利用したい」が44.8%で最も多くなっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「ほぼ毎日利用したい」が 34.8%から 44.8%へ増加 (10.0) しています。



## ※ 問20で「ほぼ毎週利用したい」,「週に数日利用したい」と回答の方

### a. 長期休暇 /開始時間·終了時間

- ·開始時間は「8時~」が48.2%で最も多く、次いで「9時~」が30.9%となっています。
- ・終了時間は「~19 時」が 46.6%,「~17 時」が 44.5%と多くなっています。

## (開始時間)

No.	項目	人数	割合 (%)
1	7 時以前	1	0.3
2	7 時~	75	19.6
3	8 時~	184	48.2
4	9 時~	118	30.9
5	10 時以降	4	1.0
	 有効回答		100.0

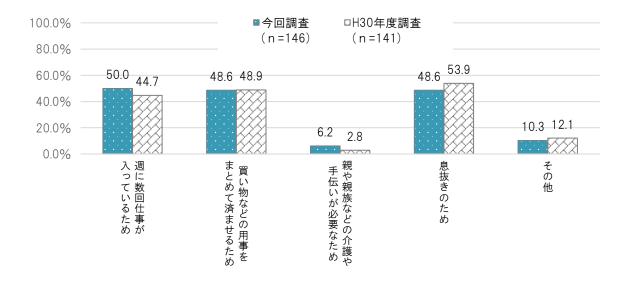
### (終了時間)

No.	項目	人数	割合 (%)
1	~13 時	2	0.5
2	~15 時	22	5.8
3	~17 時	170	44.5
4	~19 時	178	46.6
5	19 時以降	10	2.6
	有効回答	382	100.0

# ※ 問20で「週に数日利用したい」と回答の方

### 問 20-1. 毎日ではなく、たまに利用したい理由について【複数回答】

・「週に数回仕事が入っているため」が 50.0%, 「息抜きのため」と「買い物などの用事をまとめて済ませるため」が 48.6%となっています。

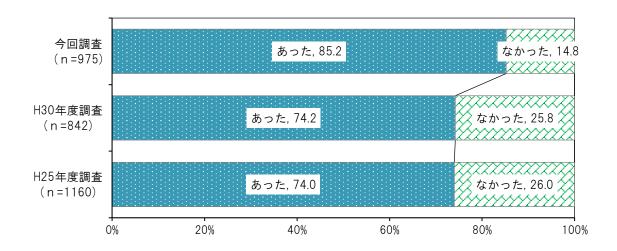


## (6)病気の際の対応について【平日の教育・保育を利用する方】

# ※ 問 17 で「利用している」と回答の方

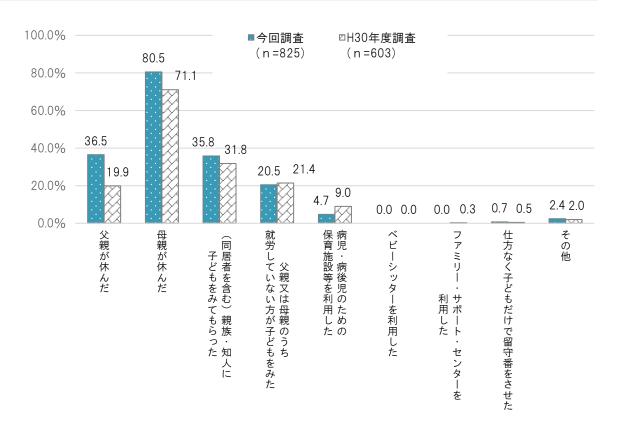
# 問 21. この 1 年間に、病気やケガでいつも通っている幼稚園や保育所などが利用できなかった ことについて

- ・「あった」が85.2%,「なかった」が14.8%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「あった」が 74.2%から 85.2%へ増加(11.0) しています。



# 問 21-1. この 1 年間の対処方法とそれぞれの日数について

・「母親が休んだ」が 80.5%と最も多く,次いで「父親が休んだ」36.5%,「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が 35.8%となっています。



#### (対処日数)

・『父親が休んだ』では「10日未満」が51.5%と最も多く、『母親が休んだ』では「10日未満」と「20日未満」がそれぞれ3割以上と多くなっています。

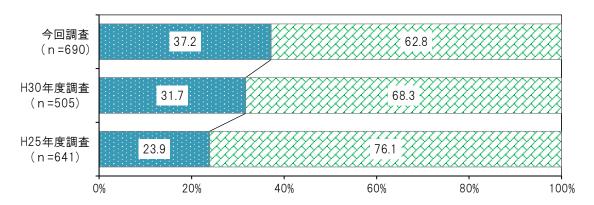
No.	項目	有効		日数				
INO.		回答	3日未満	10 日未満	20 日未満	20 日以上		
1	父親が休んだ	301	93	155	41	12		
Į.	文統が作んた	100.0%	30.9%	51.5%	13.6%	4.0%		
2	囚钥が仕りだ	659	31	223	224	181		
2	日母親が休んだ	100.0%	4.7%	33.8%	34.0%	27.5%		
3	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみて	291	53	140	67	31		
3	もらった	100.0%	18.2%	48.1%	23.0%	10.7%		
4	父親又は母親のうち就労していない方が子	167	7	43	54	63		
4	どもをみた	100.0%	4.2%	25.7%	32.3%	37.7%		
5		39	10	15	13	1		
5	病児・病後児保育を利用した	100.0%	25.6%	38.5%	33.3%	2.6%		
6	ベビーシッターを利用した	_	_	_	-	-		
0	ベビーシッダーを利用した	-	_	-	_	-		
7	ファミリー・サポート・センターを利用し	-	_	_	_	_		
/	た	_	_	_	_	_		
8		6	1	4	1	_		
0	仕方なく子どもだけで留守番をさせた 	100.0%	16.7%	66.7%	16.7%	_		
9	7 0 14	12	2	3	5	2		
9	その他	100.0%	16.7%	25.0%	41.7%	16.7%		

# ※ 問 21-1 で「父親が休んだ」、「母親が休んだ」と回答の方

#### 問 21-2. 病児・病後児のための保育施設等の利用について

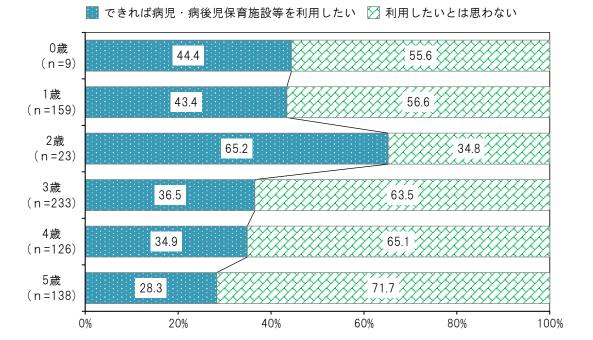
- ・「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 37.2%,「利用したいとは思わない」が 62.8%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 31.7%から 37.2%へ増加 (5.5) しています。

#### ■ できれば病児・病後児保育施設等を利用したい 🕅 利用したいとは思わない



# (子どもの年齢別)

・子どもの年齢が低いほど,「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が高い傾向があります。



39

## a. 病児・病後児保育施設等を利用したい日数

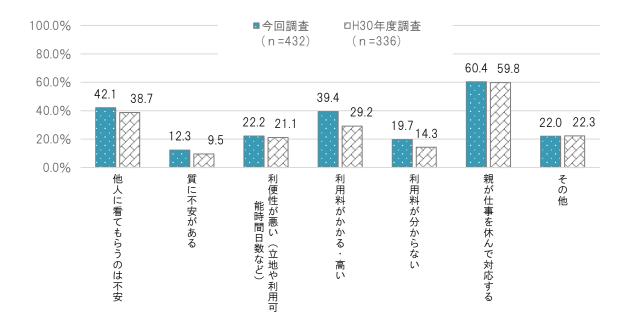
・「10 日未満」が 42.2%で最も多く、次いで「20 日未満」が 32.5%となっています。

No.	項目	人数	割合 (%)
1	3 日未満	9	3.6
2	10 日未満	105	42.2
3	20 日未満	81	32.5
4	20 日以上	54	21.7
	有効回答	249	100.0

## ※ 問 21-2で「利用したいとは思わない」と回答の方

## 問 21-3. 利用したいとは思わない理由について【複数回答】

- ・「親が仕事を休んで対応する」が 60.4%で最も多く、次いで「他人に看てもらうのは不安」が 42.1%、「利用料がかかる・高い」が 39.4%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」が 29.2%から 39.4%へ増加(10.2) しています。



## (7) 不定期な教育・保育事業や宿泊を伴う一時的な預かり等の利用について

# 問 22. 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用(冠婚葬祭、リフレッシュ等)、親の通院、 急な仕事などで、不定期に利用している事業について

・「利用していない」が86.1%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)」が7.6%となっています。



#### (日数)

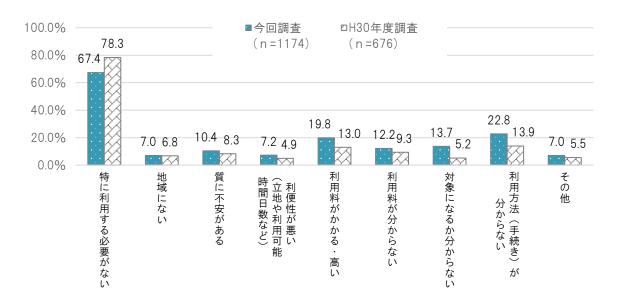
・『一時預かり』と『幼稚園の預かり保育』は「20日未満」までの利用日数で 73.2%, 『ファミリー・サポート・センター』は「10日未満」までの利用日数で 80.8%を占めています。

No.	16日	有効				
NO.	項目	回答	3日未満	10 日未満	20 日未満	20 日以上
1	一時預かり(私用など理由を問わず保育所等	56	8	14	19	15
	で,一時的に子どもを保育する事業)	100.0%	14.3%	25.0%	33.9%	26.8%
	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長	101	17	27	30	27
2	して預かる事業のうち不定期に利用する場 合のみ)	100.0%	16.8%	26.7%	29.7%	26.7%
3	ファミリー・サポート・センター(地域の有	26	11	10	5	_
3	償ボランティアによる子育て支援)	100.0%	42.3%	38.5%	19.2%	-
	夜間養護等(トワイライトステイ)事業 (児	3	_	-	2	1
4	童養護施設等で休日, 夜間, 子どもを保護す る事業)	100.0%	-	I	66.7%	33.3%
5	ベビーシッター	2	_	-	1	1
5	ベニークッダー	100.0%	_	-	50.0%	50.0%
6	2.0.W	7	2	-	3	2
0	その他	100.0%	28.6%	-	42.9%	28.6%

## ※ 問22で「利用していない」と回答の方

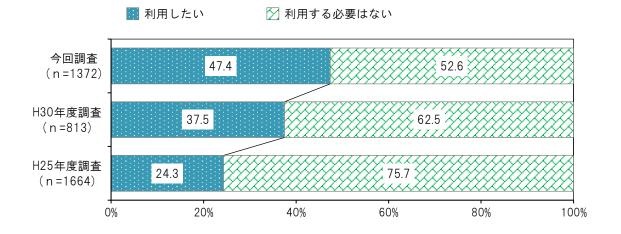
#### 問 22-1. 現在,利用していない理由について【複数回答】

- ・「特に利用する必要がない」が 67.4%と最も多く,次いで「利用方法(手続き)が分からない」が 22.8%,「利用料がかかる・高い」が 19.8%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「特に利用する必要がない」が 78.3%から 67.4%へ減少 (△10.9) しています。一方、「利用方法(手続き)が分からない」が 13.9%から 22.8%へ増加 (8.9)、 「対象になるか分からない」が 5.2%から 13.7%へ増加 (8.5) しています。



## 問23. 利用希望の有無について

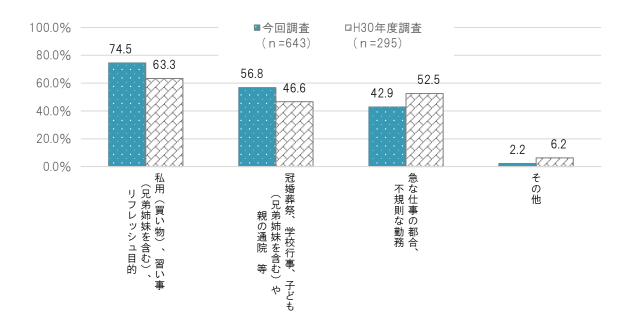
- ・「利用したい」が47.4%,「利用する必要はない」が52.6%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「利用したい」が 37.5%から 47.4%へと増加(9.9) しています。



## ※ 問23で「利用したい」と回答の方

## (利用目的の内訳)【複数回答】

・「私用(買い物)、習い事(兄弟姉妹を含む)、リフレッシュ目的」が 74.5%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等」が 56.8%、「急な仕事の都合、不規則な勤務」が 42.9%となっています。



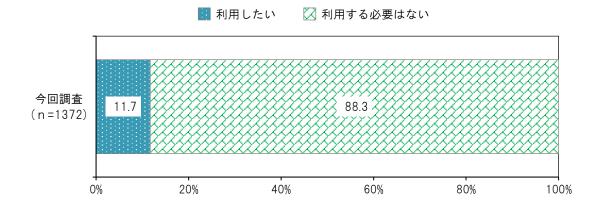
## (日数)

・利用目的に関わらず、「20日未満」までの日数で8割以上を占めています。

No.	項目	有効日数				
INO.	块日 	回答	3日未満	10 日未満	20 日未満	20 日以上
1	私用(買い物),習い事(兄弟姉妹を含む),	475	49	166	182	78
'	リフレッシュ目的	100.0%	10.3%	34.9%	38.3%	16.4%
2	冠婚葬祭,学校行事,子ども(兄弟含む)や	362	57	190	96	19
	親の通院 等	100.0%	15.7%	52.5%	26.5%	5.2%
3	   急な仕事の都合,不規則な勤務	271	33	117	82	39
3	ぶな江事の郁石,个別別は動伤 	100.0%	12.2%	43.2%	30.3%	14.4%
1	その他	10	2	6	0	2
4	その間 	100.0%	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%

# 問 24. 泊りがけで家族以外に預ける必要がある時の短期入所生活援助(ショートステイ)事業の 利用希望について

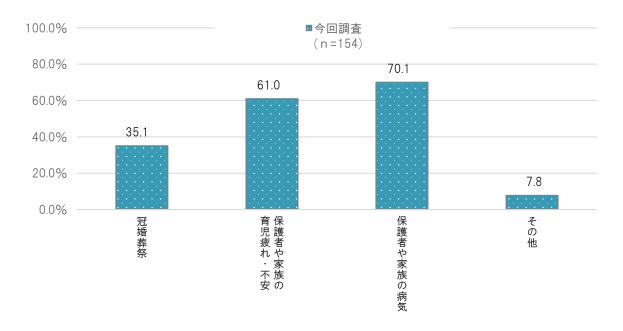
・「利用したい」が 11.7%, 「利用する必要はない」が 88.3%となっています。



# ※ 問24で「利用したい」と回答の方

# (利用目的の内訳)【複数回答】

・「保護者や家族の病気」が 70.1%と最も多く, 次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 61.0%となっています。



# (日数)

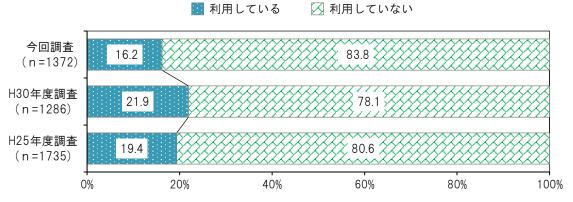
・『冠婚葬祭』では「10 泊未満」までで 98.2%を占めるのに対し、『保護者や家族の育児疲れ・不安』は「20 泊以上」が 11.7%など比較的必要な泊数が多くなっています。

No.	百日		日数			
INO.	項目	回答	3 泊未満	10 泊未満	20 泊未満	20 泊以上
1	字低苯双	54	34	19	-	1
'	冠婚葬祭	100.0%	63.0%	35.2%	-	1.9%
2	保護者や家族の育児疲れ・不安	94	21	45	17	11
		100.0%	22.3%	47.9%	18.1%	11.7%
3	保護者や家族の病気	108	22	58	20	8
3		100.0%	20.4%	53.7%	18.5%	7.4%
1	その他	9	3	2	2	2
4		100.0%	33.3%	22.2%	22.2%	22.2%

## (8)地域の子育て支援事業等の利用状況について

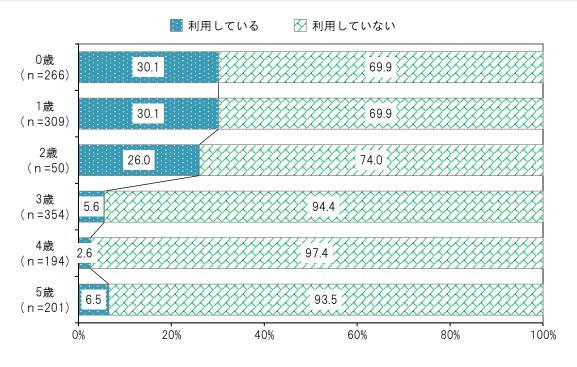
#### 問25. 地域子育て支援拠点事業の利用について

- ・「利用している」が 16.2%, 「利用していない」が 83.8%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると,「利用している」が 21.9%から 16.2%へと減少 (△5.7) しています。



#### (年齢別)

・施設の目的が未就学児とその親の交流の場となっているため、利用の多くは「O歳」から「2歳」となっており、3歳以上の年齢では利用が少なくなっています。



# a. 利用回数(月)

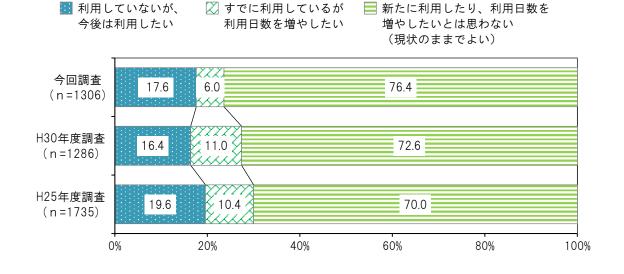
・「1回」が46.1%と多く、月4回以下が全体の92.3%を占めています。

No.	項目	人数	割合 (%)
1	1 回未満	12	7.2
2	1 回	77	46.1
3	2回	31	18.6
4	3回	23	13.8
5	4 回	11	6.6
6	5 回	1	0.6
7	6~10回	6	3.6
8	11~20回	5	3.0
9	21 回以上	1	0.6
	有効回答	167	100.0

※週あたり回数を月あたり回数に換算して,「回/週」で答えた人と「回/月」で答えた人を合算しています。

# 問 26. 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用されている方は利用日数を 増やしたいか

・H30 年度調査と比較すると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 72.6%から 76.4%へ増加 (3.8) しています。



# a. 利用していないが、今後利用したい回数(月)

・「1回」が 44.4%と多く,月4回以下が全体の 93.4%を占めています。

No.	項目	人数	割合 (%)
1	1 回未満	0	0.0
2	1 回	79	44.4
3	2回	51	28.7
4	3回	17	9.6
5	4 回	19	10.7
6	5回	6	3.4
7	6~10回	3	1.7
8	11~20回	3	1.7
9	21 回以上	0	0.0
	 有効回答	178	100.0

# b. 利用しているが、今後増やしたい回数(月)

・「2回」が 46.3%と多く,月4回以下が全体の 82.9%を占めています。

No.	項目	人数	割合 (%)
1	1 回未満	0	0.0
2	1 回	2	4.9
3	2回	19	46.3
4	3回	6	14.6
5	4 回	7	17.1
6	5回	3	7.3
7	6~10回	2	4.9
8	11~20回	2	4.9
9	21 回以上	0	0.0
		41	100.0

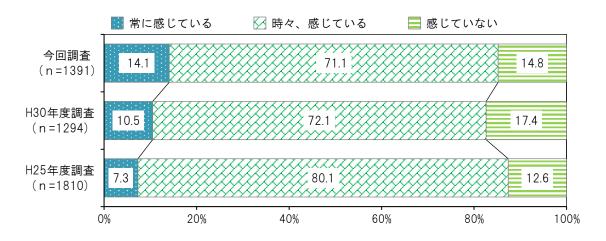
# 問 27. 事業の認知度及び利用状況等について ※「はい」を回答した割合

- ・「子育て支援センター(子育てに関する相談,子育で情報の提供)」は「知っている」が 85.4% と最も多く,「利用したことがある」が 53.7%,「今後利用したい」が 51.6%とそれぞれ認知度・利用状況・利用意向が最も高くなっています。
- ・「婦人相談・家庭児童相談・児童療育相談(離婚,いじめ,DV,子どもの発達など)」は「知っている」が44.3%に対し,「利用したことがある」は6.3%に留まっています。
- ・「ショートステイ、トワイライトステイ(児童養護施設等で休日、夜間等に、子どもを預かる事業)」は「知っている」が 16.8%と低く、「利用したことがある」も 0.5%と低くなっています。

No.	項目	知っている	利用した ことがある	今後利用 したい
1	保健センター等で実施している育児教室・育児相談等	76.5%	41.5%	42.6%
2	子育て世代包括支援センターえがおで実施している 妊産婦等の相談や交流会等	50.6%	15.0%	15.2%
3	子育て支援センター (子育てに関する相談,子育て情報の提供)	85.4%	53.7%	51.6%
4	子育てサロン・子育てサークル等の交流事業	45.8%	13.6%	20.1%
5	婦人相談·家庭児童相談·児童療育相談 (離婚,いじめ,DV,子どもの発達など)	44.3%	6.3%	15.4%
6	ショートステイ,トワイライトステイ (児童養護施設等で休日,夜間等に,子どもを預かる事業)	16.8%	0.5%	9.1%
7	病児・病後児保育事業	46.4%	9.4%	29.0%
8	くれ子育てねっと・くれっこガーデン (子育てに関する情報発信ウェブサイト)	47.2%	22.0%	31.8%
9	くれっこアプリ(母子手帳アプリ)	47.7%	25.5%	30.8%

## 問28. 子育で中のストレスについて

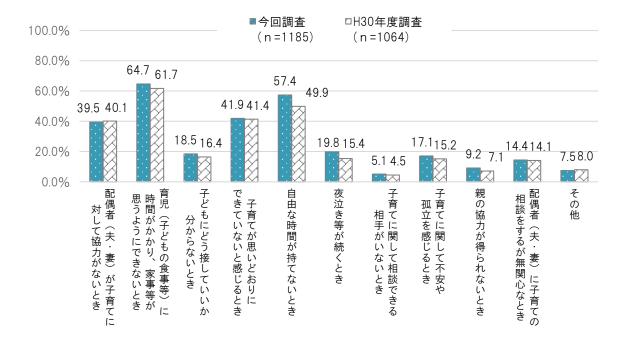
- ·「常に感じている」,「時々,感じている」を合わせた 85.2%がストレスを感じていると回答しています。
- ・H30 年度調査と比較すると,「常に感じている」が 10.5%から 14.1%へ増加(3.6) しています。



### ※ 問 28. で「常に感じている」「時々、感じている」と回答の方

#### 問 28-1. ストレスを感じる状況について【複数回答】

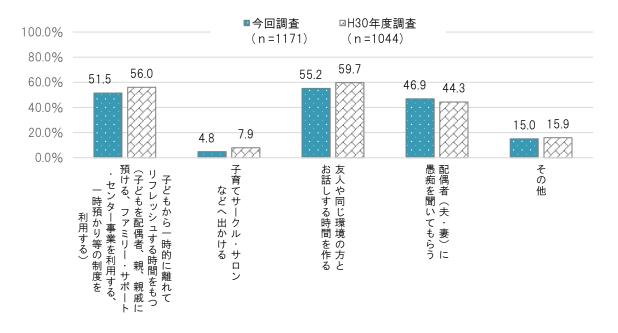
・「育児(子どもの食事等)に時間がかかり、家事等が思うようにできないとき」が 64.7%と最も多く、次いで「自由な時間が持てないとき」が 57.4%となっています。



## ※ 問 28. で「常に感じている」「時々、感じている」と回答の方

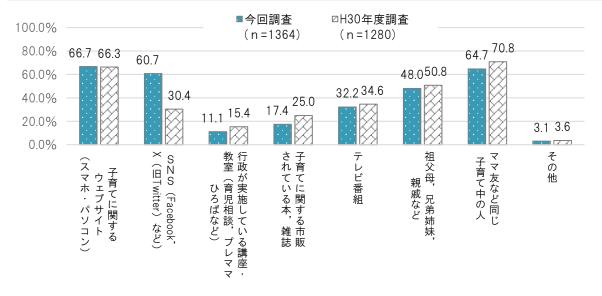
## 問 28-2. ストレスの解消法について【複数回答】

・「友人や同じ環境の方とお話しする時間を作る」が 55.2%と最も多く, 次いで「子どもから一時的に離れてリフレッシュする時間をもつ (子どもを配偶者, 親, 親戚に預ける, ファミリー・サポート・センター事業を利用する, 一時預かり等の制度を利用する)」が 51.5%となっています。



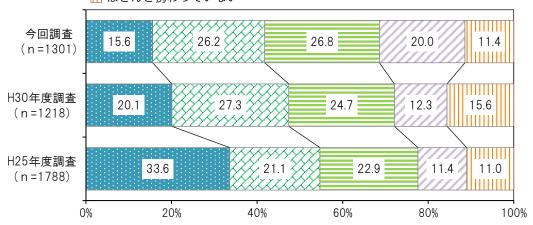
## 問29. 子育てに関する情報の入手法について【複数回答】

- ・「子育てに関するウェブサイト (スマホ・パソコン)」が 66.7%, 「ママ友など同じ子育て中の人」 64.7%と多くなっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「SNS (Facebook, X (旧 Twitter) など)」が 30.4%から 60.7% へ著しく増加 (30.3) しています。



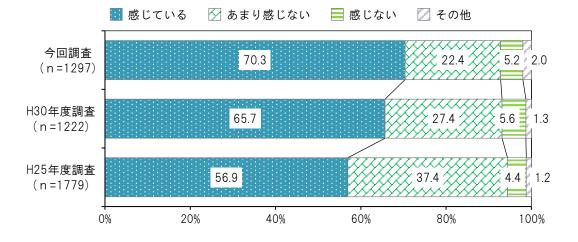
## 問30. 父親の平日における家事・育児に関わる時間について

- ・「1日あたり、概ね、1時間から2時間、家事・育児に携わっている」が 26.8%、「1日あたり、概ね、30分から1時間、家事・育児に携わっている」が 26.2%と共に多くなっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「1日あたり、おおむね、3時間以上、家事・育児に携わっている」が12.3%から20.0%へと増加(7.7)しています。
  - 1日あたり、おおむね、30分未満、家事・育児に携わっている
  - ☑ 1日あたり、おおむね、30分から1時間、家事・育児に携わっている
  - 1日あたり、おおむね、1時間から2時間、家事・育児に携わっている
  - ☑ 1日あたり、おおむね、3時間以上、家事・育児に携わっている
  - Ⅲほとんど携わっていない



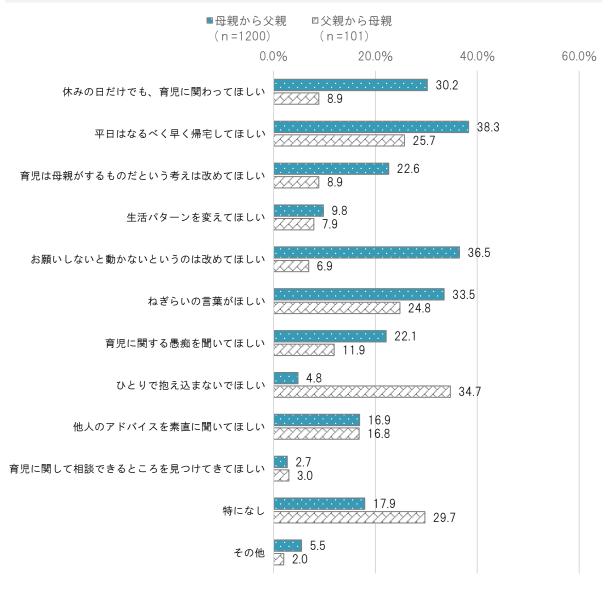
#### |問 31.子育てに関して,夫婦で分かちあっている実感について

- ・「感じている」が 70.3%, 「あまり感じない」が 22.4%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「感じている」が 65.7%から 70.3%へと増加 (4.6) し、「あまり感じない」が 27.4%から 22.4%へと減少  $(\Delta 5.0)$  しています。



## 問32. 子育てに関して母親は父親へ、父親は母親への期待について

- ・母親から父親では、「平日はなるべく早く帰宅してほしい」が 38.3%、「お願いしないと動かないというのは改めてほしい」が 36.5%と多くなっています。
- ・父親から母親では、「ひとりで抱え込まないでほしい」が 34.7%と最も多く、次いで、「特になし」が 29.7%、「平日はなるべく早く帰宅してほしい」が 25.7%となっています。



# 問33.子どもが成長する中での次のような状態を心配したり、他の人に指摘されたことについて 【複数回答】

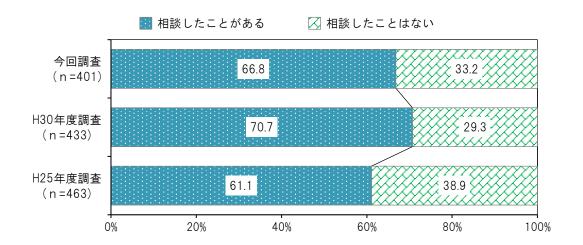
・「特になし」が 70.5%と最も多く,次いで,「ことばが遅い,または一方的に話し,ことばの やり取りが難しい」が 10.2%,「こだわりがある」が 10.0%となっています。



# ※ 問33で「視線が合いにくい」~「その他」と回答の方

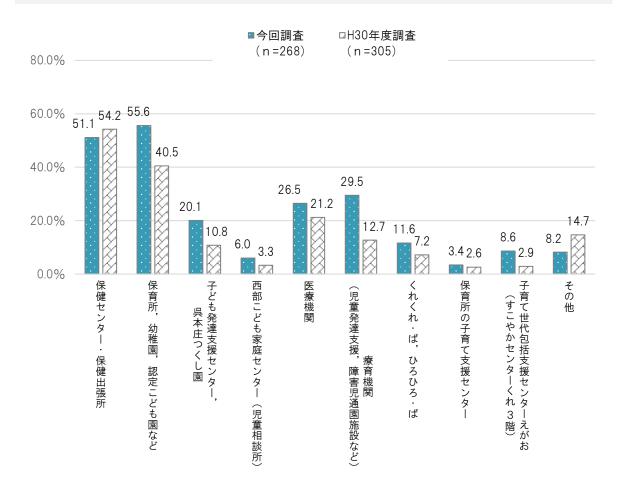
#### 問 33-1. 相談の有無について

- ・「相談したことがある」が 66.8%、「相談したことはない」が 33.2%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると,「相談したことがある」が 70.7%から 66.8%へ減少 (△3.9) しています。



## 問33-2. 相談したことがある場合,相談先について【複数回答】

- ・「保育所,幼稚園,認定こども園など」が55.6%と最も多く,次いで,「保健センター・保健出 張所」が51.1%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「療育機関(児童発達支援、障害児通園施設など)」が 12.7%から 29.5%へ増加(16.8) し、また「保育所、幼稚園、認定こども園など」についても 40.5% から 55.6%へ増加(15.1) しています。



## (9) 小学校就学後の放課後の過ごし方について

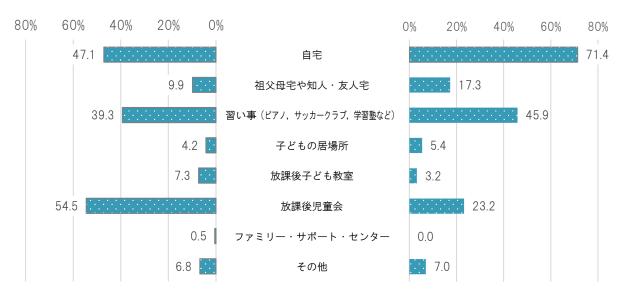
#### 問34-35. 放課後(平日の小学校終了後)の過ごし方について【複数回答】

- ・低学年, 高学年ともに「自宅」,「習い事(ピアノ, サッカークラブ, 学習塾など)」,「放課後 児童会」が多くなっています。
- ・H30年度調査と比較すると、低学年では「自宅」「祖父母宅や知人・友人宅」、高学年では「自宅」「習い事」の希望が減少し、低学年では「放課後児童会」を利用したいという希望が48.2%から54.5%へ増加(6.3)しています。

		低学年(n=191)			高学年(n=185)		
		(	1~3年生	)	(4~6年生)		
No.	項目	割合	(%)		割合	(%)	
			H30	差		H30	差
			年度			年度	
1	自宅	47.1	53.6	△ 6.5	71.4	77.0	△ 5.6
2	祖父母宅や知人・友人宅	9.9	15.9	△ 6.0	17.3	17.2	0.1
3	習い事	39.3	41.8	△ 2.5	45.9	53.1	△ 7.2
3	(ピアノ,サッカークラブ,学習塾など)	39.3	41.0	△ ∠.3	45.9	J3.1	△ 7.2
4	子どもの居場所	4.2	1	-	5.4	-	1
5	放課後子ども教室	7.3	1	ı	3.2	ı	1
6	放課後児童会	54.5	48.2	6.3	23.2	24.4	△ 1.2
7	ファミリー・サポート・センター	0.5	1.8	△ 1.3	0.0	1.4	△ 1.4
8	その他	6.8	3.2	3.6	7.0	1.9	5.1
	有効回答	100.0	100.0	ı	100.0	100.0	100.0

#### 【小学校低学年(1~3年生)】

#### 【小学校高学年(4~6年生)】



# (日数)

・低学年(1~3年生),高学年(4~6年生)ともに『自宅』,『祖父母宅や知人・友人宅』,『放課後子ども教室』,『放課後児童会』は「5日」が多く,『習い事(ピアノ, サッカークラブ, 学習塾など)』は「2日」が多くなっています。

## 低学年(1~3年生)

No	項目	有効		(日数/週)						
110	块日 	回答	1日	2日	3 日	4 日	5日	6日	7 日	
1	   自宅	88	8	12	8	7	39	4	10	
	日七 	100.0%	9.1%	13.6%	9.1%	8.0%	44.3%	4.5%	11.4%	
2	祖父母宅や知人・友人	19	6	4	1	-	8	-	-	
	宅	100.0%	31.6%	21.1%	5.3%	-	42.1%	_	_	
3	習い事(ピアノ, サッカ	75	24	34	13	2	2	-	-	
3	ークラブ, 学習塾など)	100.0%	32.0%	45.3%	17.3%	2.7%	2.7%	_	_	
1	4 子どもの居場所	8	4	2	_	-	2	-	-	
4		100.0%	50.0%	25.0%	l	-	25.0%	_	_	
5	放課後子ども教室	12	1	2	3	2	4	-	-	
J		100.0%	8.3%	16.7%	25.0%	16.7%	33.3%	_	-	
6	│ │ 放課後児童会	104	-	3	8	9	81	3	-	
0		100.0%	_	2.9%	7.7%	8.7%	77.9%	2.9%	_	
7	ファミリー・サポート・	1	_	1	_	_	_	_	-	
/	センター	100.0%	_	100.0%	_	_	_	_	_	
8	その他	11	3	_	2	1	4	_	1	
O O	CVIE	100.0%	27.3%	_	18.2%	9.1%	36.4%	_	9.1%	

# - 高学年(4~6年生)

No	項目	有効		(日数/週)						
INO	· 块口	回答	1日	2日	3 日	4 日	5日	6日	7日	
1	自宅	131	5	18	18	10	69	4	7	
	日七	100.0%	3.8%	13.7%	13.7%	7.6%	52.7%	3.1%	5.3%	
2	祖父母宅や知人・友人	32	6	8	5	2	11	-	-	
	宅	100.0%	18.8%	25.0%	15.6%	6.3%	34.4%	-	-	
3	習い事(ピアノ, サッカ	85	21	35	24	2	3	-	-	
3	ークラブ, 学習塾など)	100.0%	24.7%	41.2%	28.2%	2.4%	3.5%	-	-	
4	フレナの民担託	10	4	4	1	-	1	-	-	
4	子どもの居場所 	100.0%	40.0%	40.0%	10.0%	-	10.0%	-	-	
5	サ	6	1	1	1	1	2	-	-	
5	放課後子ども教室 	100.0%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	-	-	
6	放課後児童会	43	1	4	4	4	29	2	-	
0	<b>瓜妹饭</b> 沉里云	100.0%	_	9.3%	9.3%	9.3%	67.4%	4.7%	-	
7	ファミリー・サポート・	0	1	1	_	-	-	-	-	
/	センター	100.0%	-	-	-	_	_	_	-	
8	その他	11	3	1	3	_	3	-	1	
0	-C OVIE	100.0%	27.3%	9.1%	27.3%	-	27.3%	-	9.1%	

# 「5. 放課後子ども教室」「6. 放課後児童会」で過ごさせたい学年

- ・『放課後子ども教室』は「6年生まで」過ごさせたい人が42.9%と最も多くなっています。
- ・「放課後児童会」は「3年生まで」が40.6%と最も多く、次いで「6年生まで」が35.8%と なっています。

## (放課後子ども教室について)

No.	項目	人数	割合 (%)
1	1年生まで	ı	-
2	2年生まで	ı	-
3	3年生まで	3	21.4
4	4年生まで	5	35.7
5	5年生まで	_	-
6	6年生まで	6	42.9
	有効回答		100.0

#### (放課後児童会について)

No.	項目	人数	割合 (%)
1	1年生まで	1	0.9
2	2年生まで	3	2.8
3	3年生まで	43	40.6
4	4年生まで	21	19.8
5	5年生まで	-	-
6	6年生まで	38	35.8
	有効回答	106	100.0

## 「5. 放課後子ども教室」「6. 放課後児童会」下校時から何時まで利用したいか

・終了時間の希望は低学年・高学年、また『放課後子ども教室』、『放課後児童会』ともに「~17時」が最も多くなっています。

## 低学年(1~3年生)

#### (放課後子ども教室について)

No.	項目	人数	割合 (%)
1	~15 時	3	5.7
2	~16 時	11	20.8
3	~17 時	19	35.8
4	~18 時	18	34.0
5	~19 時	2	3.8
6	19 時以降	3	5.7
	有効回答	106	100.0

#### (放課後児童会について)

No.	項目	人数	割合 (%)
1	~15 時	-	-
2	~16 時	15	23.4
3	~17 時	28	43.8
4	~18 時	21	32.8
5	~19 時	-	_
6	19 時以降	-	_
	有効回答	64	100.0

### · 高学年(4~6年生)

# (放課後子ども教室について)

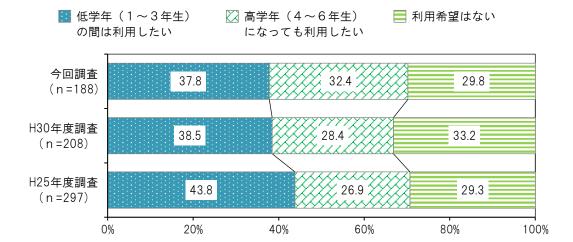
No.	項目	人数	割合 (%)
1	~15 時	_	_
2	~16 時	1	16.7
3	~17 時	4	66.7
4	~18 時	1	16.7
5	~19 時	_	-
6	19 時以降	_	-
	有効回答	6	100.0

#### (放課後児童会について)

No.	項目	人数	割合 (%)
1	~15 時	2	4.7
2	~16 時	5	11.6
3	~17 時	18	41.9
4	~18 時	17	39.5
5	~19 時	1	2.3
6	19 時以降	-	_
	有効回答	43	100.0

## 問36. 夏休み・冬休みの長期の休暇期間中の放課後児童会の利用希望について

- ・「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が 37.8%と最も多く,次いで「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が 32.4%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、低学年では「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が 28.4%から 32.4%に増加(4.0) しています。



## - 開始時間/終了時間

- ・開始時間では、「8時~」が60.0%と最も多く、次いで「7時~」が26.2%となっています。
- ・終了時間では,「17 時~」が 34.6%で最も多く,次いで「18 時~」が 27.7%,「16 時~」が 23.8%となっています。

#### (開始時間)

No.	項目	人数	割合 (%)
1	7 時前	1	0.8
2	7 時~	34	26.2
3	8 時~	78	60.0
4	9 時	13	10.0
5	10 時~	2	1.5
6	11 時~	ı	ı
7	12 時~	ı	ı
8	13 時~	1	0.8
9	14 時~	1	0.8
	有効回答	130	100.0

## (終了時間)

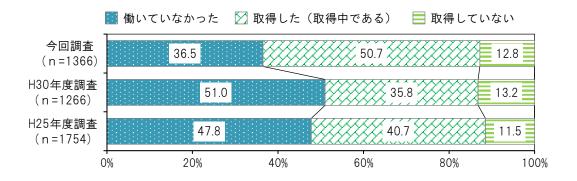
No.	項目	人数	割合 (%)
1	12 時~	2	1.5
2	13 時~	1	0.8
3	14 時~	2	1.5
4	15 時~	8	6.2
5	16 時~	31	23.8
6	17 時~	45	34.6
7	18 時~	36	27.7
8	19 時~	5	3.8
9	20 時~	-	-
	有効回答	130	100.0

#### (10) 職場の両立支援制度の利用について

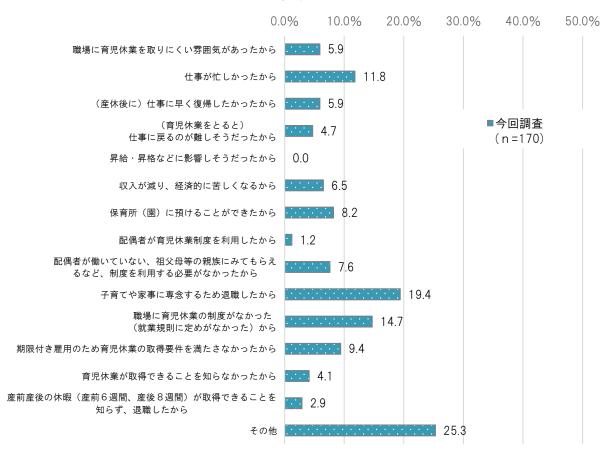
#### 問37.子どもが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方の育児休業制度の利用について

#### (1)母親

- ・育児休業の利用では,「取得した(取得中である)」が 50.7%と最も多く,次いで「働いていなかった」が 36.5%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると、「働いていなかった」が 51.0%から 36.5%へ減少 (△14.5) し、「取得した(取得中である)」が 35.8%から 50.7%へと増加 (14.9) しています。
- ・取得しなかった理由では、「子育てや家事に専念するため退職したから」が 19.4%で最も 多くなっています。

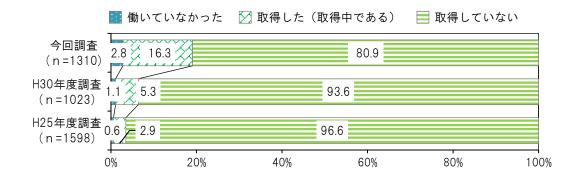


#### (取得しなかった理由)【今回調査(n=170),複数回答】

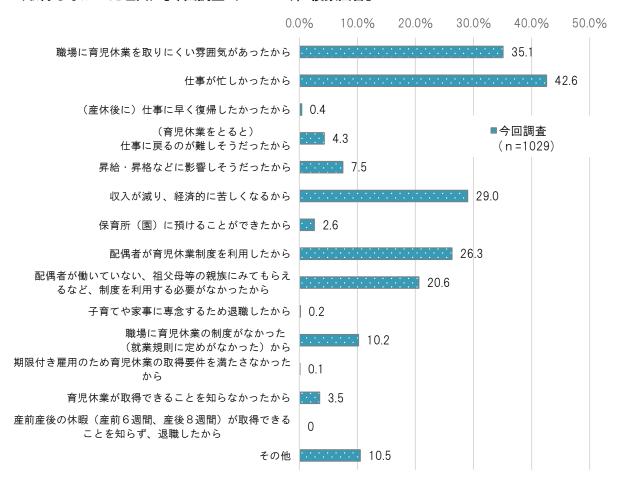


## (2)父親

- ・育児休業の利用では、「取得していない」が80.9%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると,「取得した(取得中である)」が 5.3%から 16.3%へと増加(11.0) しています。
- ・取得しなかった理由では、「仕事が忙しかったから」が 42.6% と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったから」が 35.1%、「収入が減り、経済的に苦しくなるから」が 29.0%となっています。



#### (取得しなかった理由) 【今回調査 (n=1029), 複数回答】



# ※ 問37で「取得した(取得中である)」と回答の方

# 問37-1. 育児休業から職場復帰(予定含む)したときの子どもの年齢について(実際と希望)

- ・母親の場合,『実際』,『希望』とも「1歳~1歳6ヶ月未満」が最も多く,次いで『実際』では「6ヶ月~1歳未満」が23.5%,『希望』では「3歳~4歳」が23.0%とそれぞれ多くなっています。
- ・父親の場合、『実際』では「 $1 \sim 3$  ヶ月未満」が 44.9%と最も多く、次いで「1 ヶ月未満」が 36.7%となっています。『希望』では「 $1 \sim 3$  ヶ月未満」が 25.5%と最も多く、次いで「1 歳  $\sim 1$  歳 6 ヶ月未満」が 23.0%となっています。

## a. 母親

		実際		希望	
No.	項目	人数	割合	人数	割合
		八致	(%)	八致	(%)
1	1ヶ月未満	10	1.5	0	-
2	1~3 ヶ月未満	8	1.2	1	0.2
3	3~6 ヶ月未満	14	2.1	2	0.3
4	6ヶ月~1歳未満	159	23.5	34	5.2
5	1歳~1歳6ヶ月未満	344	50.7	221	33.5
6	1 歳 6 ヶ月~2 歳未満	66	9.7	98	14.8
7	2歳~3歳未満	57	8.4	132	20.0
8	3歳~4歳未満	17	2.5	152	23.0
9	4 歳以上	3	0.4	20	3.1
		678	100	660	100.0

# b. 父親

			実際		希望	
No.	項目	人数	割合	人数	割合	
		八奴	(%)	八奴	(%)	
1	1ヶ月未満	76	36.7	23	11.5	
2	1~3 ヶ月未満	93	44.9	51	25.5	
3	3~6 ヶ月未満	12	5.8	31	15.5	
4	6ヶ月~1歳未満	8	3.9	26	13.0	
5	1歳~1歳6ヶ月未満	16	7.7	46	23.0	
6	1歳6ヶ月~2歳未満	0	-	1	0.5	
7	2歳~3歳未満	1	0.5	11	5.5	
8	3歳~4歳未満	1	0.5	10	5.0	
9	4 歳以上	0	-	1	0.5	
	有効回答	207	100.0	200	100.0	

## ※ 問 37-1 で、実際の取得期間と希望が異なる方

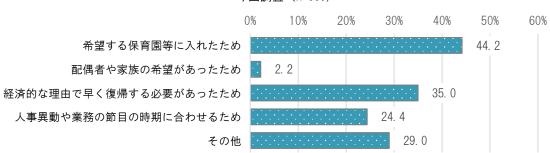
#### 問37-2. 希望の時期に職場復帰しなかった・できない予定である理由について【複数回答】

#### a. 母親

- ・「希望」より早く復帰した方の理由では、「希望する保育園等に入れたため」が 44.2%と最も 多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 35.0%となっています。
- ・「希望」より遅く復帰した方の理由では、「希望する保育園等に入れなかったため」が 54.7% と最も多くなっています。
- ・希望より早く復帰,遅く復帰ともに希望する保育園等へ入れたかどうかが理由として上位と なっています。

#### ①「希望」より早く復帰した方の理由【複数回答】



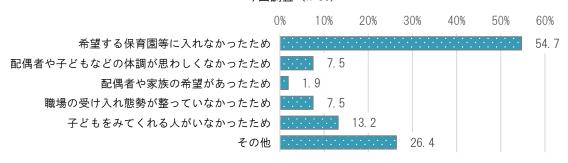


その他 (n=107 ※自由記述なし4名を含む)

- ・職場の育休制度の決まり(30名)・入園のタイミング・月齢を意識した(11名)・職場の雰囲気(10名)
- ・代替人員の不足・欠員(6 名) ・会社の都合(6 名) ・育児より仕事に復帰したかった(5 名)
- ・仕事についていけなくなるから(4名)・ 育児休業給付金の期限から(4名)
- ・退職したため(4名)・職場からの早期復帰依頼(3名)・次の子の出産・妊娠(3名)
- ・収入面(2名)・上の子の保育園の都合(2名)・育児疲れ(2名)
- ・会社を長く休めない (1 名) ・ 自営業のため (1 名) ・ 仕事が忙しかった (1 名)
- ・夫の転勤があった(1 名) ・希望する保育園等に入れなかった(1 名) ・配偶者が育休取得(1 名)
- ・延長の手続きが大変なため(1 名)・配偶者や子どもの体調(1 名) ・ 職場が協力的だった(1 名)
- ・職場に保育施設がある(1 名) ・自分の意志で(1 名)

#### ②「希望」より遅く復帰した方の理由【複数回答】

#### ■今回調査(n=53)



その他 (n=14)

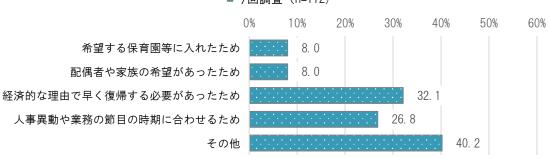
- ・次の子の出産・妊娠(6名) ・ 入園のタイミング・月齢を意識した(2名) ・ 自身の体調(1名)
- ・子の体調(1名) ・コロナウイルス感染流行(1名) ・年度末まで取得できた(1名)
- ・子どもと一緒にいたい、仕事をしたくなかった(1名)・1ヶ月間だけ復帰し、2回目の育休を1歳までとる(1名)

# b. 父親

- ·「希望」より早く復帰した方の理由では、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 32.1%と最も多くなっています。
- (※「希望」より遅く復帰した方の理由については回答数が少ないため参考値として掲載)

### ①「希望」より早く復帰した方の理由【複数回答】





その他 (n=45 ※自由記述なし2名を含む)

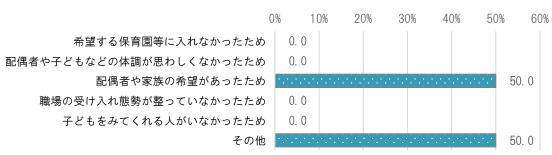
- ・職場の雰囲気(6 名) ・長く休める職場ではない(6 名)
- · 長期取得の前例がなかった(3 名) ・ 職場の決まり(3 名)
- ・職場の受け入れ態勢が整っていなかった(3名)
- ・忙しいから(2名)
- ・父母がサポートに来呉した(1名)・当時は制度がなかった(1名)
- ・現実的にとりにくい(1名)

- ・その間の給料の補償があればしたい(1名)
- ・使える制度を知り、その期間で旅行をしたため(1名)

- ・長期で取得できなかった(6名)
- ・会社の都合(3名)
- ・職場の人員不足(2名)
- ・災害があった為(1名)
- ・職場に迷惑かけるため(1名)
- ・仕事の立場上厳しかった(1名)
- ・育児休業は1週間と聞いていた為。実際は1ヶ月取れることをあとから知った(1名)

#### ②「希望」より遅く復帰した方の理由【複数回答】

#### ■今回調査(n=2)



その他 (n=1)

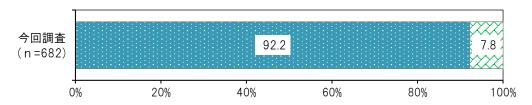
・コロナが始まって休業しなくてはいけなかったり、仕事が時短になったので結果育休になった

# ※ 問37で「取得した(取得中である)」と回答の方

問 37-3. 子どもが 1 歳になったときに必ず預けられる事業があれば1歳になるまで育児休業を取 得するかについて

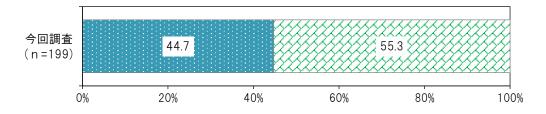
## a. 母親

- ・「1歳になるまで育児休業を取得したい」が92.2%となっています。
  - 1歳になるまで育児休業を取得したい
    □ 1歳になる前に復帰したい



# b. 父親

- · 「1歳になるまで育児休業を取得したい」が44.7%,「1歳になる前に復帰したい」が55.3% と,「1歳になる前に復帰したい」の方が多くなっています。
  - 1歳になるまで育児休業を取得したい
- ∑ 1歳になる前に復帰したい

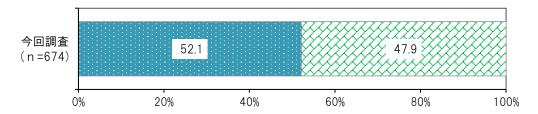


# ※ 問37で「取得した(取得中である)」と回答の方

## 37-4. 育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用について

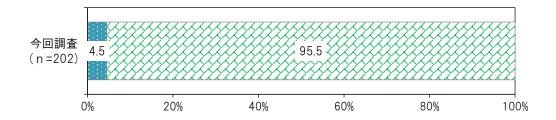
## a. 母親

- ・「短時間勤務制度を利用した」は52.1%となっています。
  - 🔡 短時間勤務制度を利用した
- ☑ 短時間勤務制度を利用しなかった



# b. 父親

- ・「短時間勤務制度を利用しなかった」が95.5%と多く、「短時間勤務制度を利用した」は4.5% となっています。
  - 短時間勤務制度を利用した 🔀 短時間勤務制度を利用しなかった

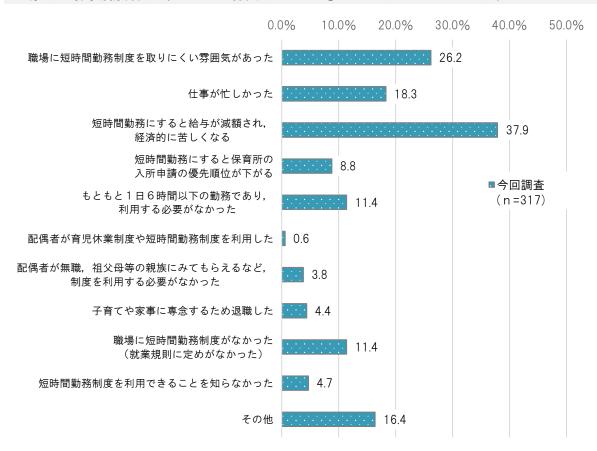


## ※ 問 37-4 で「短時間勤務制度を利用しなかった」と回答の方

#### 問37-5. 短時間勤務制度を利用しなかった理由について

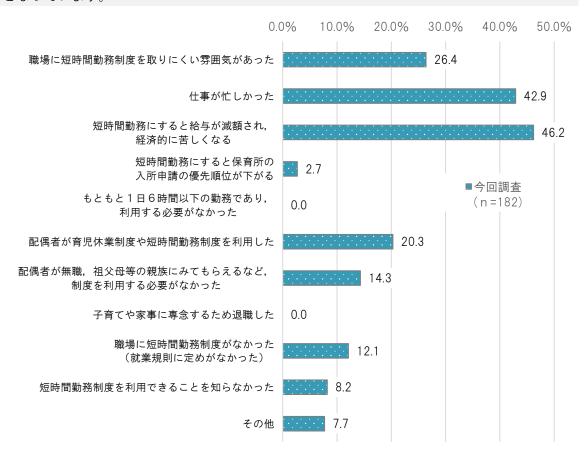
## a. 母親

·「短時間勤務にすると給与が減額され,経済的に苦しくなる」が37.9%と最も多く,次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が26.2%となっています。



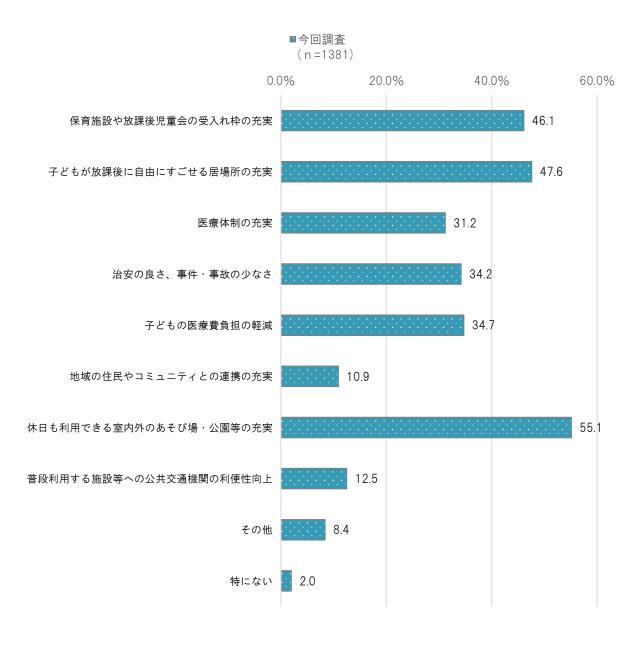
# b. 父親

・「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 46.2%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が 42.9%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 26.4%となっています。



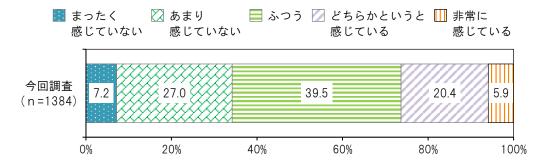
# 問38. 呉市を今より子育てしやすいまちとするために、大切なこと

・「休日も利用できる室内外のあそび場・公園等の充実」が55.1%と最も多く、次いで「子どもが放課後に自由にすごせる居場所の充実」が47.6%、「保育施設や放課後児童会の受入れ枠の充実」が46.1%となっています。



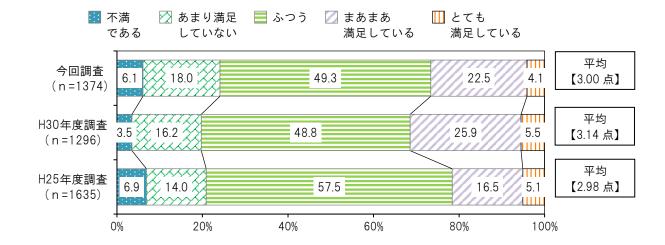
# 問39. 子育てが地域の人々や社会全体に支えられていると感じるかについて

・「ふつう」が39.5%と最も多く、次いで「あまり感じていない」が27.0%となっています。



## 問 40. お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について

- ・「ふつう」が49.3%と最も多く、次いで「まあまあ満足している」が22.5%となっています。
- ・H30 年度調査と比較すると,「まあまあ満足している」が 25.9%から 22.5.%へ減少 (△3.4) しています。満足度の平均点は, 3.14 点から 3.00 点へ低下しています。



No.	項目(回答内容の要約)	回答数	割合 (%)
1	子どもの遊び場(公園・屋内・イベント等)	103	21.1
2	経済的支援・補助等(児童手当, オムツ券, 医療費・学費の 無償化等)	102	20.9
3	保育所・幼稚園等(制度について)	75	15.4
4	子育てに関する相談・子育て支援センター等の事業	48	9.8
5	病児保育の充実	42	8.6
6	保育所・幼稚園等(費用負担について)	31	6.4
7	就学児童の放課後や長期休暇の過ごし方(放課後児童会等)	27	5.5
8	小学校の体制等	27	5.5
9	医療体制の強化・充実	25	5.1
10	子育てに関する情報発信の強化・充実	25	5.1
11	職場の両立支援制度等	24	4.9
12	一時預かり・ベビーシッター・家事代行等	24	4.9
13	障害のある子ども等への支援	20	4.1
14	子ども・子育て支援に関する政策全体	19	3.9
15	子ども・子育てに安全・安心な環境づくり	18	3.7
16	アンケートに内容に関して	11	2.3
17	中学校の体制等	11	2.3
18	街づくり・交通・商業施設の充実等	10	2.0
19	教育の充実	8	1.6
20	母子・父子家庭等	7	1.4
21	図書館等の公共施設の充実	5	1.0
22	子育てについての意識啓発等	4	0.8
	有効回答者数(※内容別に分類した総回答数は 666 件)	488	100

#### (主な意見)※原文のまま

#### 【子どもの遊び場(公園・屋内・イベント等)】

- 3歳以降も無料で遊べる室内施設を増やしてほしい(無料の駐車場付き)。
- 公園があってもボール遊び禁止など、子供達が安全に楽しく遊べる場所が明らかに少なくなっていると思う。子育てしていく上で、子供が思い切り遊べる場所が本当に歩いてすぐの場所にあると、親も子供もストレスが減ると思う。
- ◆ 公園はたくさんあり、うれしいのですが、夏と冬の子ども達の居場所がありません。日・祝日も開いている室内の遊び場がほしいです。
- ◆ 遊具などが充実した公園があると良い。雨の日でも利用できたり、年齢別にエリアが分かれていたり、駐車場ありで。
- 最近,親子で楽しめるイベントが増えてきているので,とても満足しています。これからも続けてほしいです。

#### 【経済的支援・補助等(児童手当、オムツ券、医療費・学費の無償化等)】

- 共働きでも、子どもの子育てや教育にお金がかかりすぎる。とてもじゃないけど金銭的支援が少なすぎる。
- ◆ ミルク代やオムツ代などでお金がかかるので、児童手当などをもう少し増やしてほしい。現

- 状, 第3子目は給付額が増えるという事ですが, 第1子, 第2子も同じようにしてほしい。
- 他の自治体のように、医療費無料の実現や給食費の無料化、生まれた子どもに対する子育て 費用の援助(オムツ代1年間無料等)を実現して下さると、かなり助かる。
- 子どもの予防接種代を無料,または今より安くしていただきたいです。インフルエンザの予防接種を受けたかったのですが、子どもが3人いるため合計額が高すぎて接種できませんでした。

#### 【保育所・幼稚園等(制度について)】

- 希望の保育園に入りたいです。
- ◆ こども園の2号枠をもっと増やして欲しい。入園できるかわからず、1号で入園し、新2号 で過ごすと延長の制限や給食が出ず、とても困る生活でした。
- ◆ 育休中や専業主婦とかでも定期的に(できれば希望者は毎日)保育所 etc.に幼い時でもあず けられるようになれば救われる人が増えると思います。
- 両親共働きのため、朝早くから夜遅くまで幼稚園で過ごさせてもらっています。園で過ごすことも良いと思いますが、習い事をさせてくれる支援があってほしいです。(園への送迎つきで)。

#### 【子育てに関する相談・子育て支援センター等の事業】

- ◆ なかなか近くに育児を相談できる人がいないので、産後の保健師さんの訪問が3ヶ月や6ヶ月ぐらいの時にもあれば嬉しいです。父親だけの育児学級が土日にあれば嬉しいです。
- 入園までの3歳の間にわんぱく広場に通えた事が子育てに初めての子育てで孤立感が無くて良かった。連れて行っている時に気軽に相談できたのが良かったです。ありがとうございました!
- 子どもの人数が多くなるにつれて、行動に制限がかかることもあるので、施設利用する際の年齢制限を緩和してほしい。例えば(8歳以下まで・・・)と記載されていると、一番上はすでに超えており、1人だけ待たせるわけにもいかないので、結局あきらめてしまう、ということが多いです。
- ◆ ひろひろば等の施設に行くと駐車場代がかかるのが気になる。しっかり遊ばせて帰ろうと思ったら3時間は居たりするので行かない理由になる

#### 【病児保育の充実】

- 仕事を休めず見てもらう人がいないため病児保育を充実させて欲しい。
- 病児・病後児保育施設が少なすぎる。休日・祝日の病気で医師会が対応してくれない時がある。急な用事ができて子どもを預かってくれるような支援が欲しい。
- 病児保育の登録はしているが実際利用していない。ほかの病気をもらうのも怖いし、子供が知らない場所にいくのが苦手。いつもと同じ場所に預けることができれば親子とも安心できると思います。

#### 【保育所・幼稚園等(費用負担について)】

• 3歳から保育園料無料だが食費が意外と高くてしんどい。給食費用も無償化に含まれるとたすかる。また3歳未満の保育料も高い。結果子供を預けるために働いているように感じる。

なんのために働いているのかわからない。

- ◆ 保育料が高く、時短勤務では払えない。その結果、子どもとの時間が短くなる。
- ◆ 乳児も保育料がかからなくするか、少なめになるとありがたいです。保育士さんの給料はむ しろ上げてほしい。

#### 【就学児童の放課後や長期休暇の過ごし方(放課後児童会等)】

- ・ 小学生が放課後や長期休暇を充実して過ごせる教育・遊びプログラム、環境があればよい(有料でも)。小学校にあがってからの仕事との両立に不安があります。
- ◆ 共働きの家庭が多いため小学校の長期休暇中は学童を7時から開けて欲しい。 8時半では 間に合わず時間休を取らなければならないため。働きにくい。
- 子どもたちの放課後をより充実したものにしてほしい。私たちでは当たり前だった放課後学校で遊ぶということも難しい現代、学校を開放して、友達同士自由に遊べる居場所をつくってください。

#### 3. 資料編(調査票)

# 呉市子ども・子育て支援に関するニーズ調査(就学前児童用) 調査票

# ◆ご回答にあたってのお願い◆

- 1 **オンライン回答、または、この紙の調査票のどちらかで**ご回答ください。所要時間の目安は20~30分程度です。
- 2 アンケートは、お送りした**封筒の宛名のお子さんの保護者の方がご回答ください**。もし、保護者の 方が回答できない場合は、身近な方が保護者の意見を聞きながらご回答くださいますようお願いします。
- 3 特にことわりのある場合以外は、**宛名のお子さんについて**、ご回答ください。
- 4 ここで回答いただいた内容(施設や事業の利用希望)は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望は、変更していただいて構いません。
- 5 集計作業の迅速化のため、可能な範囲でオンラインでの回答にご協力ください。オンラインで回答され た場合は、この紙の調査票の返送は不要です。

# <オンラインでご回答の方へ>

- オンラインでご回答の方は、回答ページにアクセスの上、画面の案内に従ってご回答ください。 内容は紙の調査票と同じですが、オンラインの場合は回答内容に応じて必要な質問のみが表示されます。 ※オンラインでご回答の場合、**途中で中断すると、それまでに回答された内容は保存されません**。
  - インターネット接続が安定した環境、またお忙しい中とは存じますが、続けてご回答のお時間が とれる時にご協力ください。

# オンライン回答ページへのアクセス方法

右記の二次元コードをスマートフォンなどから読み取り、 回答ページにアクセスして回答いただけます。

URLを入力して回答される場合は、ウェブブラウザのインターネットアドレス欄に、右記のURLをすべて半角の英字小文字で入力し、キーボードの「Enter」キーを押してください。

く ださい。 ※重複・不正回答の防止のため、二次元パーコード、回答ページのURLはランダムに固有のものを生成し、調査票に貼付、無作為に封入して います。回答者がだれかを特定するものではありませんので、紙の調査票でご回答の場合も、シールははがさず、このままご提出ください。

# **<紙の調査票でご回答の方へ>**

- ご回答は選択肢に○印をつけていただく場合と、数字等をご記入いただく場合があります。
- 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますのでことわり書きに従ってください。また、 「その他」をお選びいただく場合は、その後にある ( )内に具体的な内容をご記入ください。
- 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時→18時)でご記入ください。
- 設問により、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きに従ってご回答ください。
- ご記入いただきましたら、お手数ですが、**同封の返信用封筒に入れ**、封をした後、切手をはらずに、 令和6年1月28日(日)までにポストに投函してください。なお、封筒、調査票への氏名の記入は不要です。

### ご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先までお願いします。

# 【お問い合わせ先】 呉市役所 こども部 こども支援課

〒737-8501 呉市中央4丁目1番6号

電話番号:(0823) 25-3254 / ファックス:(0823) 24-6720

※受付時間: 8時30分~17時15分(土・日・祝日は除く)

お子さ	らんとご家族の	状況について	うかがい	ます。							
問1	お住まいの地区		る番号 <u>1</u>	<u> つに</u> 〇?	をつけて	くださ	い。				
	1. 中央	2. 吉浦	3.	警固屋	4.	阿賀	5.	広	6.	仁方	
	7. 宮原	8. 天応	9.	昭和	10.	郷原	11.	下蒲刈	12.	川尻	
	13. 音戸	14. 倉橋	15.	蒲刈	16.	安浦	17.	豊浜	18.	豊	
	※「中央」地区	とは呉市のうち。	上記の2~	~18地[	区を除く:	地域をる	さします。				
問2	宛名のお子さん	心の生年月をご記	己入くださ	۶۷۱°							
	西暦	年		月							
問3	宛名(封筒に訂	いのきょうだいに <b>記載されている)</b> さんがいる場合	のお子さ	さんを含む	めた人数	を	-	引入くださ	<b>ι</b> ١.		
	きょうだいの	D数	] 人	末子の生	年月	西暦		年			月
問4		ご回答いただいて いからみた関係と		_		<u> つに</u> 0	をつけて	ください。			
	1. 母親	2. 父親		3. その	他(						)
問5		ご回答いただいて 3 <u>1つに</u> のをつけ			系につい	てお答	えください	, <b>)</b> 。			
	1. 配偶者がし	. \ る 2	.配偶者	がいない		3.	どちらにも	も該当しな	い(施設	<b>没等</b> )	
問6		<sub>い</sub> の身の回りのせ はお子さんからみ			ている方	として	、あてはる	まる番号 <u>1</u>	<u> つに</u> ()(	印をつけ	ナてく
	1. 父母とも	2.	主に母親	ļ	3.	主に父	:親	4.	主に祖ら	と母	
	5. その他(									)	
問7		ぃの子育てを支援 号 <b>1つに</b> ○印をこ			ハますか	o					
	1. いる	2.	いない		3.	その他	. (				)
問フで	「1. いる」に	○印をつけた方に	こうかがし	ハます。							
	その支援者は、	宛名のお子さん <b>すべてに</b> 〇印を	からみて	こどなた -							
	1. 祖父母	2. 父母の兄	,弟姉妹	3.	父母の友	入	4. その	の他(			)
問8		域の団体(自治会 もちづくりセンタ									

2. 持っていない

あてはまる番号<u>1つに</u>〇印をつけてください。

1. 持っている

# 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問9		子育て(教育を含む 関係であてはまる番				_	(施設)で	らずか。	
	1. 父母ともに	2. 母親	3.	父親	4.	祖父母	5.	幼稚園	
	6. 保育所	7. 認定こども園	8.	その他(					)
問 10		子育て(教育を含む <u>べてに</u> O印をつけて			思われる題	環境は何です	「か。		
	1. 家庭	2. 地域	3.	幼稚園	4.	保育所	5.	認定こど	も園
	6. その他(								)
問 11		さんをみてもらえる <b>べてに</b> О印をつけて			すか。				
	2. 緊急時もしく3. 日常的に子ど	:母等の親族にみてもは は用事の時には祖父が さをみてもらえる知。 は用事の際には子どで :い	母等の親 人・友人	がいる		がいる			
問 12		子育て(教育を含む か。あてはまる番号					いますか。	また、相談	 淡でき
	1. いる/ある	→ 問12-1へ		2.	いない/ケ	ない →	問13へ		
	1 お子さんの子育で	」に〇印をつけた方 て(教育を含む)に関 <b>すべてに</b> 〇印をつけて	関して、	気軽に相談	できる先	は、誰(ど	こ)です⁄	か。	
	1. 祖父母等の親	族	2.	友人や知人					
	3. 近所の人			子育て支援 (子育て支援 <del>!</del>		くれ・ば、ひ	ろひろ・ば <sup>っ</sup>	など)、児童	館等)
	5. 保健センター	• 保健出張所	6.	保育士					
	7. 幼稚園教諭		8.	民生委員·	児童委員				
	9. かかりつけの	医師	10.	呉市の子育	で関連担	当窓口			
	11. 子育て世代包	括支援センターえがな	お(すこ	やかセンタ	<b>-</b> くれ 3	階)			
	12. その他【例:	ベビーシッター】(							)
問 13		む) をする上で、周 ますか。自由に書い			或の大人、	行政等)カ	いらどのよ	こうなサポー	ートが

# お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

※お子さんの保護者が父母のどちらでもない場合は、問17(6ページ)へお進みください。

問 14 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者を含む)をうかがいます。

あてはまる番号10CO印をつけてください。;

フルタイム……週に5日程度、1日8時間程度の就労 パート・アルバイト等……「フルタイム」以外の就労

#### (1) 母親【父子家庭の場合は記入不要】

- 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6. これまでに就労したことがない

→ ○印をつけた方 は(1)-1 **へ** 

→○印をつけた方 は(2)**父親へ** 

→○印をつけた方

は(2)-1へ

#### (1) 母親で、「1~4.」(就労している) にO印をつけた方にうかがいます。

- 1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」と、「家を出る時間」、「帰宅時間」を<u>数字で</u>ご記入ください。
- ※一定でない場合は、もっとも多いパターンについて(産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について)お答えください。

(1) -1	就労日数 1週あたり	В		就労時間	1日あたり		時間
(1) -2	家を出る時間	時	分	帰宅時間	H	<b>a</b>	分

※時間は、必ず 24 時間制でお答えください(例:午後8時30分→20時30分)

#### (2) 父親【母子家庭の場合は記入不要】

- 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6. これまでに就労したことがない

### (2) 父親で、「1~4.」(就労している) にO印をつけた方にうかがいます。

- 1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」と、「家を出る時間」、「帰宅時間」を**数字で**ご記入ください。
- ※一定でない場合は、もっとも多いパターンについて(産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る 前の状況について)お答えください。

(2) -1	就労日数 1週あたり	Ħ	就労時間 1日あ	たり 時間
(2) -2	家を出る時間	時	帰宅時間	時

※時間は、必ず 24 時間制でお答えください(例:午後8時30分→20時30分)

問 14 の(1) 母親または(2) 父親で、「3」「4.」(パート・アルバイト就労している等) に〇印をつけた方にうかがいます。該当しない場合は、問 16 または問 17 へお進みください。

問 15 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号 1 つにO印をつけてください。

# (1) 母親

- 1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

### (2) 父親

- 1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

## 問 14 の(1) 母親または(2) 父親で、

「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」」「6. これまでに就労したことがない」に〇印をつけた方にうかがいます。該当しない場合は、問 17(6ページ)へお進みください。

#### (1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態 ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
→ (1週あたり 日・1日あたり 時間)

# (2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労	の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが	歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労	したい
→希望する就労形態 → ア.フ	ルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
	『一トタイム、アルバイト等(「ア」以外)
	→ (1週あたり 日・1日あたり 時間)

# お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。

1	体的には、幼稚園や保育所等、向 I/-I に示した事業が 下の設問も同様の定義です。事業内容の説明について	
問 17	宛名のお子さんは、現在、幼稚園や保育所などの あてはまる番号 <u>1 つに</u> 〇印をつけてください。	
	1. 利用している → 問 17-1 へ	2. 利用していない → 問 17-5 (7ページ) へ
問 17-	1~問 17-4 は、問 17 で「1.利用している」に	○印をつけた方にうかがいます。
問 17-	1 宛名のお子さんは、現在、平日どのような教育・位で「定期的に」利用されているものすべてに	呆育事業を利用していますか。次の中から、年間を通 )印をつけてください。
	1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる 事業のうち定期的な利用のみ)
	3. 認可保育園 (一定の基準に適合した施設で呉市の認可 を受けた定員 20 人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設)
	5. 小規模な保育施設 (一定の基準に適合した施設で、呉市の 認可を受けた定員概ね6~19人のもの)	6. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
	7. その他の保育施設 (ベビーホテル、託児所等認可外保育施設)	8. ファミリー・サポート・センター (地域の有償ボランティアによる 子育て支援事業)
	9. その他(	)
問 17-2 <b>(1)</b> !	2 平日に定期的に利用している教育・保育事業につまた、希望としてはどのくらい利用したいですか ※時間は、必ず 24 時間制でお答えください。(を現在)	。
	1週あたり 日	
	1日あたり 時間(時間帯 時	分から 時 分まで)
(2) 希	章 	
	1週あたり 日	
	1日あたり 時間(時間帯 時	分から 時 分まで)

問 17-3 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。 主な理由としてあてはまる番号**すべてに**〇印をつけてください。

- 1. 子どもの教育や発達のため
- 2. お子さんの身の回りの世話をしている方が現在就労している
- 3. お子さんの身の回りの世話をしている方が就労予定である/求職中である
- 4. お子さんの身の回りの世話をしている方が家族・親族などを介護している
- 5. お子さんの身の回りの世話をしている方が病気や障害がある
- 6. お子さんの身の回りの世話をしている方が学生である
- 7. その他( )

問 17-4 平日に定期的に利用されている教育・保育事業への満足度について5段階で評価し、あてはまる番号 1つに〇印をつけてください。

満足度低い				満足度高い
不満である	あまり満足 していない	ふつう	まあまあ 満足している	とても 満足している
1	2	3	4	5

問 17-5 は、問 17 で「2. 利用していない」に〇印をつけた方にうかがいます。

問 17-5 利用していない理由は何ですか。主な理由としてあてはまる番号すべてに〇印をつけてください。

1. 利用する必要がない

(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)

- 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
- 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
- 4. 利用したいが、教育・保育事業に空きがない
- 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
- 6. 利用したいが、延長・夜間等の利用できる時間帯の条件があわない
- 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない

8.	子どもがまだ小さいため(	歳くらいになったら利用しようと考えている)
a	その他 (	

)

日の教育・保育事業として、「定期的に」利用し	る、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平 したいと考える事業をお答えください。 の事業を、利用したい順に <u>数字で</u> ご記入ください。
※必ずしも、第8希望まで記入いただく必要はありま 利用できない場合、他に利用する可能性がある事業	
※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生し 利用料が設定されています。	します。例えば、認可保育所の場合、世帯収入に応じた
利用したい事業	
第 1 希望	第3希望 番 第4希望 番
第5希望 番 第6希望 番	第7希望 番 第8希望 番
1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業の うち定期的な利用のみ)
3. 認可保育園 (一定の基準に適合した施設で呉市の認可 を受けた定員 20 人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (一定の基準に適合した施設で、呉市の 認可を受けた定員概ね6~19人のもの)	6. 家庭的保育 (一定の資格要件を満たす保育者が 自宅などで5人以下の子どもを 保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. その他の保育施設 (ベビーホテル、託児所等認可外保育施設)
9. 居宅訪問型保育 (一定の資格要件を満たす保育者が 子どもの家庭で預かる事業)	10. ファミリー・サポート・センター (地域の有償ボランティアによる 子育て支援事業)
11. こども誰でも通園制度(仮称) (月に決まった時間の範囲内で、保育所等 に通っていない生後6カ月から2歳の こどもを保育園等に預けることができる サービス)	12. その他
こども誰でも通園制度のイメージ 保護者の就労要件を問わず毎月一定時間利用できる 生後6カ月~2歳の未就園児が対象	
問 18 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり傷います。	保育」を選択し、かつ「3~11」も選択した方にうかが

問 18-1 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。 あてはまる番号<u>1 つに</u>〇印をつけてください。

1. はい 2. いいえ

# お子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業についてうかがいます。

問 19 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に利用したい定期的な教育・保育事業がありますか。 (一時的な利用希望は除きます)

希望がある場合は、利用したい時間帯を必ず(例)9時00分、18時30分のように24時間制でご 記入ください。なお、これらの事業には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、保育所、幼稚園、認定こども園等の事業をさします。親族・知人による預かり は含みません。

# (1) 土曜日

1. 利用する必要はない	利用したい時間帯	きをお答えください	(例)18時3C	分
2. ほぼ毎週利用したい	- 時	分から	時	分まで
3. 月に1~2回は利用したい				

#### (2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない	利用したい時間	間帯をお答	えくださ	い(例)	18日	\$30分	
2. ほぼ毎週利用したい ¬	_ 時		分から		時		分まで
3. 月に1~2回は利用したい 」							

問 19 で「3. 月に1~2回は利用したい」の番号に〇印をつけた方にうかがいます。

問 19-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号**すべてに**〇印をつけてください。

1	日に数回仕事が入っているた	X

2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

)

- 3. 親や親族などの介護や手伝いが必要なため 4. 息抜きのため

5.	そ	の <sup>,</sup>	他	(

現在、「幼稚園」及び「認定こども園(幼稚園機能部分)」を利用されている方にうかがいます。

問20 宛名のお子さんについて、夏休み、冬休みなど長期の休暇期間の教育・保育の利用を希望しますか。 希望がある場合は、利用したい時間帯を必ず(例)9時00分、18時30分のように24時間制で ご記入ください。なお、これらの事業には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	利用	目したい時間帯を	をお答えください	(例) 18時3	0分
2. ほぼ毎日利用したい	-	時	分から	時	分まで
3. 週に数日利用したい					

問 20 で「3.週に数日利用したい」の番号に〇印をつけた方にうかがいます。

問 20-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号**すべてに**〇印をつけてください。

- 1. 週に数回仕事が入っているため
- 2. 買い物などの用事をまとめて済ませるため
- 3. 親や親族などの介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜きのため

5. その他(

# お子さんが病気のときの対応についてうかがいます。

問 17(6ページ)で定期的な教育・保育事業を「1. 利用している」に〇印をつけた方にうかがいます。 利用されていない方は問 22(11ページ)へお進みください。

問 21 この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガでいつも通っている幼稚園や保育園などが利用できなかったことはありますか。 あてはまる番号 **1 つに**〇印をつけてください。

. 4 .	BB 04 4	- t- t- t- PB 00
1. あった	→ 問 21-1 へ	2. なかった → 問22へ

問 21 で「1. あった」の番号にO印をつけた方にうかがいます。

問 21-1 そのときどう対処したのかと、1 年間のそれぞれの日数はおおよそ何日ですか。 あてはまる番号**すべてに**〇印をつけ、それぞれの日数を記入してください。 ※半日程度は 1 日でカウントしてください。

1.	父親が休んだ	日/年		
2.	母親が休んだ	日/年		
3.	(同居者を含む)親加	<b>疾・知人に子どもをみ</b>	てもらった	日/年
4.	父親又は母親のうち	就労していない方が子	~どもをみた	日/年
5.	病児・病後児のため	の保育施設等を利用し	,t:	日/年
6.	ベビーシッターを利 	用した		日/年
7.	ファミリー・サポー	・ト・センターを利用し	,t:	日/年
8.	仕方なく子どもだけ	で留守番をさせた …		日/年
9.	その他(		)	日/年

問 21-1 で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」の番号に〇印をつけた方にうかがいます。

問21-2 その際「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われたことはありますか。 あてはまる番号 <u>1 つに</u>〇印をつけてください。また、「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用 したい」を選ばれた方は、 内に日数を記入してください。

なお、病児・病後児のための事業等には、一定の利用料がかかり、利用前には、かかりつけ医の受診が必要となります。

## 『病児保育事業 (病児対応型・病後児対応型)』

保護者が就労している場合等において、子どもが病気や病気からの回復期で集団保育が困難な期間を病院などにおいて付設された専用スペースで、看護師等が一時的に保育を実施する事業です。

1. できれば病児・病後児保育	施設等を利用したい …	日/年	→問 22 へ	
2. 利用したいとは思わない	→問 21-3 へ			

# 問21-2で「2. 利用したいとは思わない」の番号に〇印をつけた方にうかがいます。

問 21-3 そう思われる理由について、あてはまる番号**すべてに**O印をつけてください。

1. 他人に看てもらうのは不安	2. 質に不安がある
3. 利便性が悪い(立地や利用可能時間日数など)	4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料が分からない	6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他(	)

# お子さんの不定期な教育・保育事業や宿泊を伴う一時的な預かり等の利用についてうかがいます。

問 22 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用(冠婚葬祭、リフレッシュ等)、親の通院、急な仕事の都合などで、不定期に利用しているサービスがありますか。 ある場合は、あてはまる番号**すべてに**〇印をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)について**数字を**ご記入ください。

1.	一時預かり (私用など理由を問わず保育所等で一時的に子どもを保育する事業)	日/年	
2.	幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	日/年	
3.	ファミリー・サポート・センター (地域の有償ボランティアによる子育で支援) 	日/年	
4.	夜間養護等(トワイライトステイ)事業 (児童養護施設等で休日、夜間に、子どもを預かる事業)	日/年	
5.	ベビーシッター	日/年	
6.	その他( )	日/年	
7.	利用していない		

問22で「7. 利用していない」の番号に〇印をつけた方にうかがいます。

問 22-1 現在、利用していない理由について、あてはまる番号**すべてに**O印をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 地域にない
3. 質に不安がある	4. 利便性が悪い(立地や利用可能時間日数など)
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料が分からない
7. 対象になるか分からない	8.利用方法(手続き)が分からない
9. その他(	)

問 23 宛名のお子さんについて、私用(冠婚葬祭、リフレッシュ等)、親の通院、急な仕事の都合などの目的で、 年間何日くらいサービスを利用する必要があると思いますか。

利用希望の有無について、あてはまる番号・希望する<u>すべてに</u>〇印をつけ、必要な日数(おおよそ)と目的別の内訳について**数字を**ご記入ください。

なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用	月したい	計	日/年
(内訳)	ア. 私用 (買い物)、習い事 (兄弟姉妹を含む)、リフレッシュ目的		日/年
	イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等		日/年
	ウ. 急な仕事の都合、不規則な勤務		日/年
	エ. その他( )		日/年
2. 利用	- 目する必要はない		

問24 宛名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、<u>泊りがけで年間何日くらい</u>家族以外に預ける必要があると思いますか。 短期入所生活援助(ショートステイ)事業(児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業)の利用希望の有無について、あてはまる番号・希望する<u>すべてに</u>〇印をつけ、必要な泊数をご記入ください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用	1. 利用したい			泊/年		
(内訳)	ア、冠婚葬祭			泊/年		
	イ、保護者や家族の育児疲れ・不安			泊/年		
	ウ. 保護者や家族の病気			泊/年		
	エ、その他(	)		泊/年		
2. 利用						

# すべての方に地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

		, , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , </u>				
問 25	宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事態情報提供を受けたりする場で「つどいの広場」「子いますか。利用されている場合は、 内におま	育て支援センター	」等と呼ばれてい	ます) を利用して		
「つど	いの広場」「子育て支援センター」とは、子育て中の	親子がいつでも気	軽に利用することが	ができ、自由に交		
II .	る場のことです。					
Oすこ	<b>やか子育て支援センター</b> :ひろひろ・ば(広市民センター	-3階)、くれくれ・	ば (呉駅南 レクレビル	,4階)		
	<b>子育て支援センター</b> :救世軍呉保育所、阿賀保育園、					
認定	こども園焼山こばと、きらきら音戸保育園、認定こと	ごも園せいれんじ、 	認定こども園天応	めぐみ園		
	1. TITL					
	1. 利用している					
	L 1週あたり L 回	もしくは 1	か月あたり	回		
	2. 利用していない					
問 26	今は利用していないが、できれば利用したい、ある	るいは、利用され	ている方は利用日	数を増やしたいと		
1-5 2-0	思いますか。あてはまる番号1つに〇印をつけ、					
	1. 利用していないが、今後は利用したい		<u> </u>			
	1. 利用していないが、ラ後は利用したい		_	<b>—</b>		
	<b>→</b> 1週あたり 回	もしくは 1	か月あたり	回		
	2. すでに利用しているが利用日数を増やしたい					
	L→ 1週あたり	もしくは 1	か月あたり	回		
		0.0 (10)				
	3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは	:思わない (現状の	ままでよい)			
問 27	次の事業で知っているものやこれまでに利用した。	_ _ とがあるものが	ありますか また	今後 利田し		
たいと思いますか。						
サービスごとにA~Cのそれぞれについて「はい」「いいえ」の <b>いずれかに</b> Oを付けてください。						
		Α	В	С		
	サービスの内容	知っている	これまでに利用	今後(続けて)		
			したことがある	利用したい		
	①保健センター等で実施している育児教室・	1+1.) 1.11.7	けい いいえ	けい いいえ		

			_			
サービスの内容	A 知っている		<b>B</b> これまでに利用 したことがある		<b>C</b> 今後(続けて) 利用したい	
①保健センター等で実施している育児教室・ 育児相談等	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②子育て世代包括支援センターえがお で実施している妊産婦等の相談や交流会等	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③子育て支援センター (子育てに関する相談、子育て情報の提供)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④子育てサロン・子育てサークル等の交流事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤婦人相談・家庭児童相談・児童療育相談 (離婚、いじめ、DV、子どもの発達など)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥ショートステイ、トワイライトステイ (児童養護施設等で休日、夜間等に、子どもを 預かる事業)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦病児・病後児保育事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧くれ子育てねっと・くれっこガーデン (子育てに関する情報発信ウェブサイト)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑨くれっこアプリ (母子手帳アプリ)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

#### 問 28 - 子育て中、ストレスを感じることはありますか。あてはまる番号**1つに**〇印をつけてください。

1. 常に感じている

2. 時々、感じている

3. 感じていない

問 28 で「1. 常に感じている」「2. 時々、感じている」にO印をつけた方にうかがいます。

問 28-1 どういった時にストレスを感じますか。あてはまる番号**すべてに**〇印をつけてください。

- 1. 配偶者(夫・妻)が子育てに対して協力がないとき
- 2. 育児(子どもの食事等)に時間がかかり、家事等が思うようにできないとき
- 3. 子どもにどう接していいか分からないとき
- 4. 子育てが思いどおりにできていないと感じるとき
- 5. 自由な時間が持てないとき
- 6. 夜泣き等が続くとき
- 7. 子育てに関して相談できる相手がいないとき
- 8. 子育てに関して不安や孤立を感じるとき
- 9. 親の協力が得られないとき
- 10. 配偶者(夫・妻)に子育ての相談をするが無関心なとき
- 11. その他(

)

問 28 で「1.常に感じている」「2.時々、感じている」 にO印をつけた方にうかがいます。

問 28-2 ストレスの解消法としてあてはまる番号**すべてに**〇印をつけてください。

- 1. 子どもから一時的に離れてリフレッシュする時間をもつ (子どもを配偶者、親、親戚に預ける、ファミリー・サポート・センター事業を利用する、 一時預かり等の制度を利用する)
- 2. 子育てサークル・サロンなどへ出かける
- 3. 友人や同じ環境の方とお話しする時間を作る
- 4. 配偶者(夫・妻)に愚痴を聞いてもらう
- 5. その他(

)

- 問 29 子育てに関する情報はどのように入手されますか。あてはまる番号**すべてに**〇印をつけてください。
  - 1. 子育てに関するウェブサイト(スマホ・パソコン)
  - 2. SNS (Facebook、X (旧 Twitter) など)
  - 3. 行政が実施している講座・教室(育児相談、プレママひろばなど)
  - 4. 子育て関する市販されている本、雑誌
  - 5. テレビ番組
  - 6. 祖父母、兄弟姉妹、親戚など
  - 7. ママ友など同じ子育て中の人
  - 8. その他(

)

配偶者がいる方におうかがいします。母子家庭、父子家庭等の方は、問 33 へお進みください。

- **父親の平日**における家事・育児に関わる時間について、あてはまる番号1つにO印をつけてください。 問 30
  - 1. 1日あたり、おおむね、30分未満、家事・育児に携わっている
  - 2. 1日あたり、おおむね、30分から1時間、家事・育児に携わっている
  - 3. 1日あたり、おおむね、1時間から2時間、家事・育児に携わっている
  - 4. 1日あたり、おおむね、3時間以上、家事・育児に携わっている
  - 5. ほとんど携わっていない

問 31	子育てに関して、	夫婦で分かちあっている実感はありますか。
	あてはまる番号 <u>1</u>	<b>っに</b> 0印をつけてください。

1. 感じている 2. あまり感じない 3. 感じない 4. その他(

- 子育てに関して配偶者(母親は父親、また、父親は母親)に何を期待しますか。 問 32 あてはまる番号**すべてに**〇印をつけてください。
  - 1. 休みの日だけでも、育児に関わってほしい
  - 2. 平日はなるべく早く帰宅してほしい
  - 3. 育児は母親がするものだという考えは改めてほしい
  - 4. 生活パターンを変えてほしい
  - 5. お願いしないと動かないというのは改めてほしい
  - 6. ねぎらいの言葉がほしい
  - 7. 育児に関する愚痴を聞いてほしい
  - 8. ひとりで抱え込まないでほしい
  - 9. 他人のアドバイスを素直に聞いてほしい
  - 10. 育児に関して相談できるところを見つけてきてほしい
  - 11. 特になし
  - 12. その他(
- 問 33 宛名のお子さんが成長する中で、次のような状態を心配したり、他の人に指摘されたことがあります か。あてはまる番号**すべてに**O印をつけてください。
  - 1. 視線があいにくい
  - 2. 人見知りをしない、または人見知りが激しすぎる
  - 3. ことばが遅い、または一方的に話し、ことばのやり取りが難しい
  - 4. 刺激に過敏(音、映像、味覚など)
  - 5. こだわりがある
  - 6. ひどく落ち着きがない(多動)
  - 7. 集団になじみにくい
  - 8. 体や手足の動きがひどくぎこちない
  - 9. その他(

10. 特になし

問 33 で「1~9」の番号にO印をつけた方にうかがいます。

問 33-1 そのことを相談したことがありますか。あてはまる番号 1 つにO印をつけてください。

1. 相談したことがある

2. 相談したことはない

問 33-1 で「1.相談したことがある」の番号に〇印をつけた方にうかがいます。

問 33-2 どこに相談されましたか。あてはまる番号<u>すべてに</u>0印をつけてください。

1. 保健センター・保健出張所

- 2. 保育所、幼稚園、認定こども園など
- 3. 子ども発達支援センター、呉本庄つくし園 4. 西部こども家庭センター (児童相談所)

5. 医療機関

10. その他(

6. 療育機関(児童発達支援、障害児通園施設など)

)

)

7. くれくれ・ば、ひろひろ・ば

- 8. 保育所の子育て支援センター
- 9. 子育て世代包括支援センターえがお(すこやかセンターくれ 3階)

# 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について伺います。

※宛名のお子さんが5歳未満の方は問37(18ページ)へお進みください。

問34 宛名のお子さんについて、**小学校低学年(1~3年生)のうち**は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

あてはまる番号**すべてに**〇印をつけ、それぞれ希望する週あたりの日数を**数字で**ご記入ください。

また「**放課後子ども教室・放課後児童会」**の場合は、利用を希望する学年、時間も<u>数字で</u>ご記入ください。時間は、(例) 18時30分のように24時間制でご記入ください。

#### 「子どもの居場所」

地域の大人が、地域の子どもたちを対象に、食事の提供、学習の支援、遊びの体験などの活動をとおして、安心して過ごせる取り組み (子ども食堂、児童館など) のことを言います。

# 「放課後子ども教室」

全ての児童が放課後を身近な場所で、安全・安心に過ごし、大人の見守りのもと、多様な体験・活動をすることができる居場所です。

#### 「放課後児童会」

保護者の就労等により昼間家庭にいない場合など、指導員のもと、子どもの生活の場として提供するものです。利用には一定の利用者負担が発生します。

# 「ファミリー・サポート・センター」

子どもの一時預かりなどの援助を受けたい方(依頼会員)と子育ての援助を行いたい方(提供会員)を登録し、会員同士で子育てを援助する活用(有償ボランティア)です。

1.	自宅		週	日くらい
2.	祖父母宅や知人・友人宅		週	日くらい
3.	習い事(ピアノ、サッカー)	クラブ、学習塾など)	週	日くらい
4.	子どもの居場所		週	日くらい
5.	放課後子ども教室	小学校	年生まで 週	日くらい
		下校時から	時	分まで
6.	放課後児童会	小学校	年生まで 週	日くらい
		下校時から	時	分まで
7.	ファミリー・サポート・セン	ンター	週	日くらい
8.	その他(		)週	日くらい

問35 宛名のお子さんについて、**小学校高学年(4~6年生)のうち**は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

あてはまる番号**すべてに**〇印をつけ、それぞれ希望する週あたりの日数を<u>数字で</u>ご記入ください。

また「**放課後子ども教室・放課後児童会」**の場合は、利用を希望する学年、時間も<u>数字で</u>ご記入ください。時間は、(例) 18時30分のように 24時間制でご記入ください。

1.	自宅		週	日くらい
2.	祖父母宅や知人・友人宅		週	日くらい
3.	習い事(ピアノ、サッカーク	7ラブ、学習塾など)	週	日くらい
4.	子どもの居場所		週	日くらい
5.	放課後子ども教室	小学校	年生まで 週	日くらい
		下校時から	時	分まで
6.	放課後児童会	小学校	年生まで 週	日くらい
		下校時から	時	分まで
7.	ファミリー・サポート・セン	ノター	週	日くらい
8.	その他(		) 週	日くらい

問36 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みの長期の休暇期間中の放課後児童会の利用希望はありますか。

あてはまる番号1つにO印をつけ、利用したい時間帯を24時間制でご記入ください。

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	利用したい時間帯
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい	時 分から
	時分まで
3. 利用希望はない	

# 育児休業制度・短時間勤務制度など、職場の両立支援制度の利用についてうかがいます。

問37 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業制度を利用しましたか。(1)母親、(2)父親のそれぞれについて、あてはまる番号**1つずつに**〇印をつけてください。

<b>(1) 母親</b> (いずれかにO)	<b>(2) 父親</b> (いずれかに〇)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない	3. 取得していない
取得していない理由 ※複数回答可 (下から番号を選んでご記入ください)	取得していない理由 ※複数回答可 (下から番号を選んでご記入ください)
:	•

- 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったから
- 2. 仕事が忙しかったから
- 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかったから
- 4. (育児休業をとると) 仕事に戻るのが難しそうだったから
- 5. 昇給・昇格などに影響しそうだったから
- 6. 収入が減り、経済的に苦しくなるから
- 7. 保育所(園)に預けることができたから
- 8. 配偶者が育児休業制度を利用したから
- 9. 配偶者が働いていない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、 制度を利用する必要がなかったから
- 10. 子育てや家事に専念するため退職したから
- 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)から
- 12. 期限付き雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかったから
- 13. 育児休業が取得できることを知らなかったから
- 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)が取得できることを知らず、退職したから
- 15. その他(

問 37 の(1) 母親または(2) 父親で「2. 取得した(取得中である)」にO印をつけた方にうかがいます。

問37-1 お子さんが何歳何か月の時に育児休業から職場復帰(予定含む)しましたか。

また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、お子さんが何歳何か月の時まで育児休業をしたかった(またはしたい)ですか。<u>数字を</u>ご記入ください。

(1)母親	実際の取得期間	歳	か月	希望	歳	か月
(2)父親	実際の取得期間	歳	か月	希望	歳	か月

問37-1で、実際の取得期間と希望が異なる方にお伺いします。

該当されない方は問37-3へお進みください。

問 37-2 希望の時期に職場復帰しなかった、希望の時期に職場復帰できない予定である理由は何ですか。 あてはまる番号**すべてに**〇印をつけてください。

#### (1) 母親

## ①「希望」より早く復帰した方

- 1. 希望する保育園等に入れたため
- 2. 配偶者や家族の希望があったため
- 3. 経済的な理由で早く復帰する必要が あったため
- 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
- 5. その他

#### ②「希望」より遅く復帰した方

- 1. 希望する保育園等に入れなかったため
- 2. 配偶者や子どもなどの体調が思わしく なかったため
- 3. 配偶者や家族の希望があったため
- 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかった ため
- 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
- 6. その他

#### (2) 父親

## ①「希望」より早く復帰した方

- 1. 希望する保育園等に入れたため
- 2. 配偶者や家族の希望があったため
- 3. 経済的な理由で早く復帰する必要が あったため
- 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
- 5. その他

#### ②「希望」より遅く復帰した方

- 1. 希望する保育園等に入れなかったため
- 2. 配偶者や子どもなどの体調が思わしく なかったため
- 3. 配偶者や家族の希望があったため
- 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかった ため
- 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
- 6. その他

#### 問37で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。

問37-3 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず子どもを預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。 当てはまる番号**1つに**○をつけてください。

(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい

2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい

2. 1歳になる前に復帰したい

問37で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。

問37-4 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。 あてはまる番号**1つに**〇印をつけてください。

(1) 母親

1. 短時間勤務制度を利用した

2. 短時間勤務制度を利用しなかった

(2) 父親

1. 短時間勤務制度を利用した

2. 短時間勤務制度を利用しなかった

### 問37-4で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」にO印をつけた方にうかがいます。

問37-5 利用しなかった理由は何ですか。それぞれ、あてはまる番号を<u>すべて</u>選んでご記入ください。

#### (1) 母親

# 利用しなかった理由 ※複数回答 可 (右から番号を選んでご記入ください)

### (2) 父親

利用しなかった理由 ※複数回答 可 (右から番号を選んでご記入ください) ◀■■

- 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
- 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
- 5. もともと1日6時間以下の勤務であり、利用する必要がなかった
- 6. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 7. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、 制度を利用する必要がなかった
- 8. 子育てや家事に専念するため退職した
- 9. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 10. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
- 11. その他(
- 問 38 呉市を今より子育てしやすいまちとするために、大切なことは何だと思いますか。 3つまで〇印をつけてください。
  - 1. 保育施設や放課後児童会の受入れ枠の充実
  - 3. 医療体制の充実
  - 5. 子どもの医療費負担の軽減
  - 7. 休日も利用できる室内外のあそび場・公園等の充実
  - 9. その他(

- 2. 子どもが放課後に自由にすごせる居場所の充実
- 4. 治安の良さ、事件・事故の少なさ
- 6. 地域の住民やコミュニティとの連携の充実
- 8. 普段利用する施設等への公共交通機関の利便性向上
- 10. 特にない
- 問39 子育てが地域の人々や社会全体に支えられていると感じますか。 あてはまる番号**1つに**〇印をつけてください。

まったく	あまり	ふつう	どちらかというと	非常に
感じていない	感じていない		感じている	感じている
1	2	3	4	5

問 40 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、あてはまる番号<u>1つに</u>〇印をつけてください。

満足度が低い				満足度が高い
不満である	あまり満足 していない	ふつう	まあまあ 満足している	とても 満足している
1	2	3	4	5

問 41 最後に、教育、保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見がございましたら、 ご自由にご記入ください。


たくさんの質問にご回答いただき、ありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、封をした後、切手をはらずに、令和6年1月28日(日)までに ポストに投函してください。なお、封筒、調査票への氏名の記入は不要です。